

Team HOPE
ペットのご家族さま
アンケート結果報告書

2026年1月
Team HOPE広報事務局



調査概要	3
調査結果サマリー	4-7
調査結果詳細	8
0. 回答者（オーナー）の属性	9-10
1. ペットの実態	11-13
2. ペットの健康状態について	14-17
3. ペットの健康診断について	18-32
4. ペットの健康寿命を延ばすことについて	33-34
5. 「ペットの健康診断の日」について	35-36
6. 「猫の健康診断の日」について	37-38
7. 「Team HOPE」について	39-40
自由まとめ	41-45
自由回答集	46-59





調査概要

■ 調査目的

①この「ペットのご家族様調査」は2016年から毎年継続して実施しており、下記の2点については、現状を把握するとともに時系列での変化を明らかにする。

- ✓ ご家族さまが、ペットの健康維持、予防医療についてどのように考えているか、実際にどのような健診を受けさせているか、ペットの健康管理の意識と実態
- ✓ Team HOPEや「ペットの健康診断の日」の認知状況

②新規項目として、健康診断の結果の報告について、受け取り方の現状と希望を伺い、ギャップを把握する。

上記結果を今後のTeam HOPEの健診啓発活動の参考とする。

■ 調査対象者条件と対象者数

- 犬、猫のご家族で、主にペットの面倒を見たり、健康管理をしている人
- 全国、**20歳以上**
- 複数飼っている場合は、**最年長のペット**を対象とする

- 犬猫それぞれのご家族を同数とする。また、最年長のペット年齢を7歳未満と7歳以上で均等割付

- **回収有効サンプル 計412名**
 - 犬のご家族 206名 （最年長の犬の年齢7歳未満103名、7歳以上103名）
 - 猫のご家族 206名 （最年長の猫の年齢7歳未満103名、7歳以上103名）

■ **調査方法**：WEB調査

■ **調査期間**：2025年11月26日(水)～2025年11月30日(日)



調査結果サマリー1



1. ペットの実態

- 犬7歳未満は「雄」のほうが多く、7歳以上は「雌」のほうはやや多い。去勢率は7歳未満69%で、7歳以上62%より高い。避妊率は年齢差なしで86%。飼育犬種上位は「トイプードル、チワワ、柴」。
- 猫の性別は雌雄ほぼ半々。去勢率、避妊率ともに7歳以上のほうが高く9割を超えるが、7歳未満は去勢率85%、避妊率78%。飼育猫種は、「雑種」が約半分を占める。

2. ペットの健康状態について

- **約4分の3は、ペットが「健康だと思っている」。「健康とは思っていない」は1割弱。**
 - ペットが「健康だと思っている」は76%。一方、「健康とは思っていない」が8%。17%は「どちらともいえない」としている。
 - 犬猫とも7歳未満では「健康」が8割を超え、「健康とは思っていない」は3~4%にとどまる。しかし、犬では、7歳以上になると「健康」が56%と減り、「健康とは思っていない」が17%に増える。猫も7歳以上では「健康」が減るものの、72%と7割を超え、犬より健康割合が多い。
- **ペットが健康だと思う主な理由は、「これまでに病気や異常が見つかったことがない」で、約3分の2。**
 - ペットが健康だと思っているオーナーの主な理由をみると、「これまで病気や異常が見つかったことがない」が66%で最多。「病気や異常があったことはあるが、今は落ち着いているから」も23%みられる。
 - 犬猫とも7歳未満では「これまで病気や異常なし」が約7割と多数を占める。7歳以上でも同理由が最多だが、5~6割に減り、「病気や異常があったが今は落ち着いている」が約3割と多くなる。





調査結果サマリー1

3. ペットの健康診断について

- **定期的受診率47%。受診経験あり31%、今年初受診1%で、約2割は未受診。**
 - 「定期的受診」率は、犬7歳以上で58%と高い。受診経験ありと今年初受診を加えると、犬オーナーや猫7歳未満では約8割を占めるが、猫7歳以上では74%と低め。
 - 時系列で「定期的受診」率をみると、コロナ禍の2020年にやや減少して39%となり、その後は44%~47%の間で増減を繰り返している。今年は昨年よりやや増加し、2022年と同率の47%となった。ただし、「受診経験あり」が減ったため、両方を足した受診率全体は昨年とほぼ同率。
- **初めて健康診断を受診したペット年齢は、犬猫とも7歳未満では「0~1歳」が多く、犬7歳未満では79%、猫7歳未満では76%。**
 - ペット年齢7歳以上をみると、10歳以上で初めて健診受診が犬では18%、猫では11%。
 - 定期健診の頻度は、犬猫とも7歳未満では「年1回程度」が6割強と多く、猫7歳以上でも5割を超える。犬7歳以上では、「年2回以上」が55%と多め。全体時系列でみると、年2回以上受診率は2019年以降4割前後で推移している。
- **健診受診のきっかけは、「ペットを飼い始めた」54%、「健康診断はペットにとって大切だと思っていた」31%。**
 - オーナー属性に関係なくトップは「ペットを飼い始めた」。犬7歳以上では、その割合が低めで、「健康診断はペットにとって大切だと思っていた」と並んで「動物病院ですすすめられて」が多く、「ペットが歳をとった」も相対的に多い。
- **受診率が高い健診内容TOP3は「問診、触診、視診」で、この10年変わらず。**
 - 2021年以降年々受診率が増えているのは「尿検査」と「超音波（エコー）検査」。
- **健診で病気・異常が見つかった割合は2割強。見つかった病気や異常で多いのは循環器で25%。**
 - 犬7歳以上で病気・異常が見つかった割合が多く3割を超える。
- **健診1回当たりの受診額は「5000~1万円未満」が最多で4割強。健診受診者が考える妥当額最多も同価格帯で約4割。**
 - 猫7歳未満では、受診額「5000円以下」が29%とやや多い。妥当額に関しては、犬7歳以上で「5000円以下」が35%と多め。
 - 受診オーナーと未受診オーナーの妥当額を比べると、「5000円未満」に関して20ポイントの開きがあり、受診29%に対して未受診は48%。



調査結果サマリー2



- 健診結果の報告方法は、「開業医から口頭で説明」と「口頭で説明+報告書」がほぼ半々。希望では「口頭説明+報告書」55%。
 - 犬オーナーや猫7歳以上では、上記の方法のほか、口頭説明がなく「報告書」のみも数%みられる。
 - 希望をみると、いずれのオーナーでも「口頭説明」は実態より少なく、「報告書」のみで良いとするオーナーは実態より多い。また、犬7歳未満では、「LINEやメール」での連絡や報告書を希望するオーナーも6%みられる。
- 健康診断非受診の理由トップは、犬猫7歳以上では「今はペットが健康に過ごしているから」、7歳未満では左記理由と「まだ歳をとっていない」が上位。
- 健康診断については、「お金がかかってもペットの健康のために定期的に受けさせたい」5割、「手ごろな価格なら受けさせたい」は4割強。
 - 時系列でみると、「お金がかかっても」はこの4年間5割前後で推移している。一方、「手ごろな価格なら」は、約10ポイントの大幅増となった。オーナー属性別では、犬7歳以上で多め。なお、「ペットに健康診断は必要ない」は1%。
- ペットの健康寿命を延ばすことは「非常に大切」64%、「（非常に+やや）大切」9割。



- 「ペットに健康診断は必要ない」と考えているオーナーはほとんどいないが、受診率が8割前後で推移している理由としては以下が考えられる。
 - ① ペットが健康で病気の経験がないと、今は健診を受けなくても大丈夫だと考える
 - ② ペットが低年齢のうち、「今は健康だから必要ない、老齢になってからでよい」と先延ばしにする
 - ③ ペットの健康寿命を延ばすことの大切さ意識が弱め
 - ④ 健康診断に関する情報不足（有効な内容、自分のペットに合った内容など。犬猫7歳未満オーナーで多め）
 - ⑤ 健診費用が負担（犬猫7歳以上オーナーで多め）
- ペットの健康診断受診率アップのためには、昨年も記したが、健康診断の必要性や内容に関する啓発活動を継続していくことが必要と考える。上記の①②に関しては、健康診断を受けて良かった経験に関する自由回答において、「健康だと思っていたが疾患が見つかった」という記載があったことを参考に、健診を受けることで、病気の早期発見・早期治療ができ、大事なペットを守ることにつながる、といったことを知らせていくことが重要だといえよう。





調査結果サマリー4

5. 「ペットの健康診断の日」について

- 認知率は13%。昨年と同率。
- 情報源上位は「WEBのニュースや記事」と「TV番組」でどちらも5割弱。
 - 「WEB」「TV番組」とも昨年から大幅に増加。
 - 一方、「動物病院」は年々低下傾向。

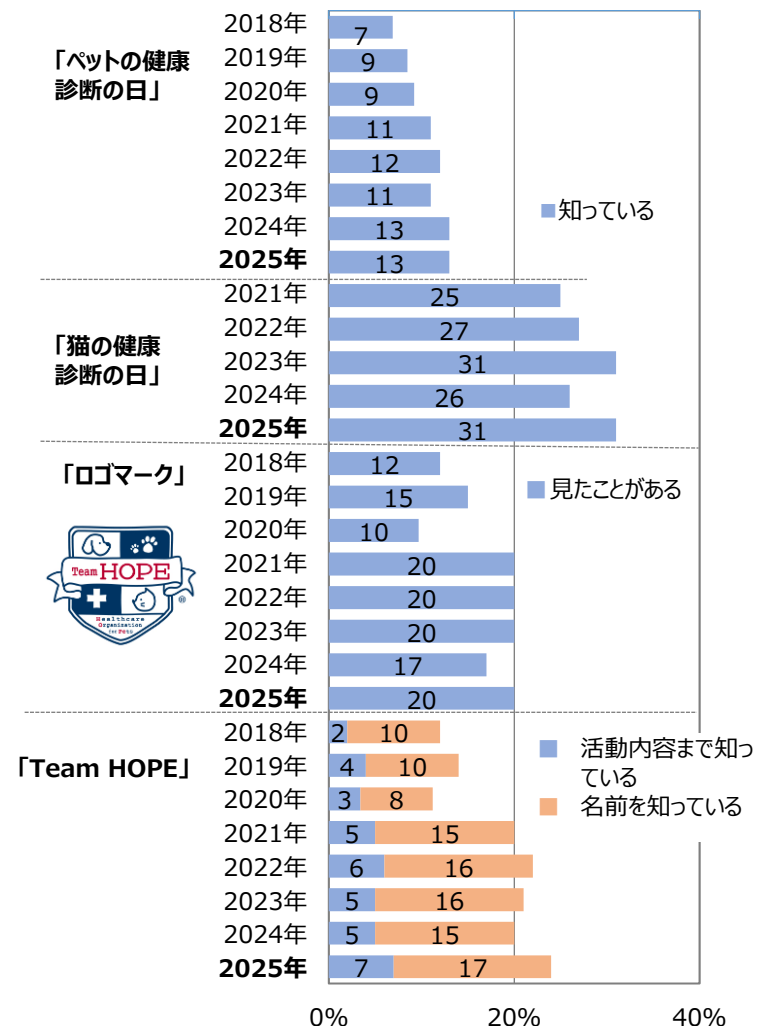
6. 「猫の健康診断の日」について

- 認知率は全体で31%。猫7歳未満オーナーでは4割強。
- 昨年低下したが、今年は増加に転じ、2023年水準に回復した。
- 情報源は、「TV番組」38%、「WEBのニュースや記事」が22%。
 - 「TV番組」はここ数年低下傾向にあったが、今年は増加に転じた。

7. 「Team HOPE」について

- ロゴマーク認知率20%、団体認知率24%。
- 時系列でみると、いずれも昨年は低下したが、今年は増加し、団体認知率は過去最高。

■ 各種認知状況（各年全体n=412）





調査結果詳細

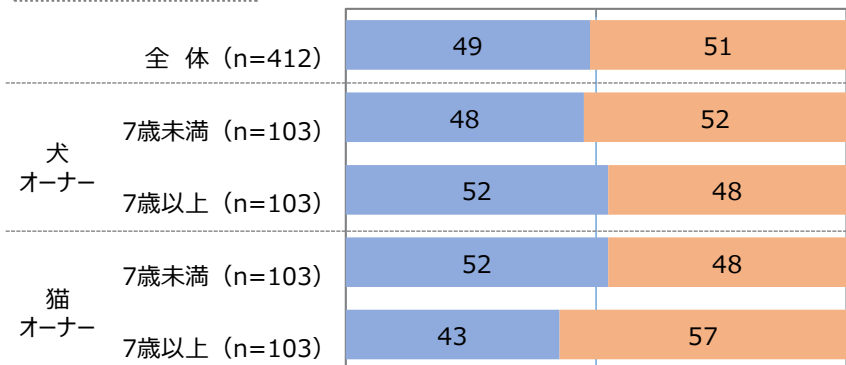
0. 回答者（オーナー）の属性-1



ペット年齢は最年長のペット。以下同様

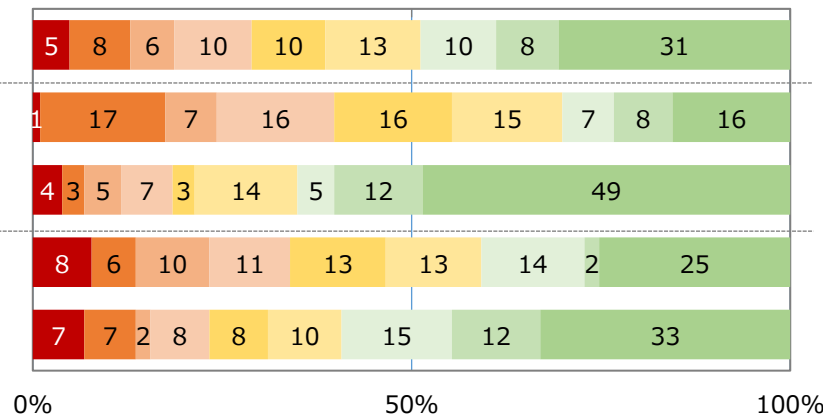
■ 性別

■ 男性 ■ 女性



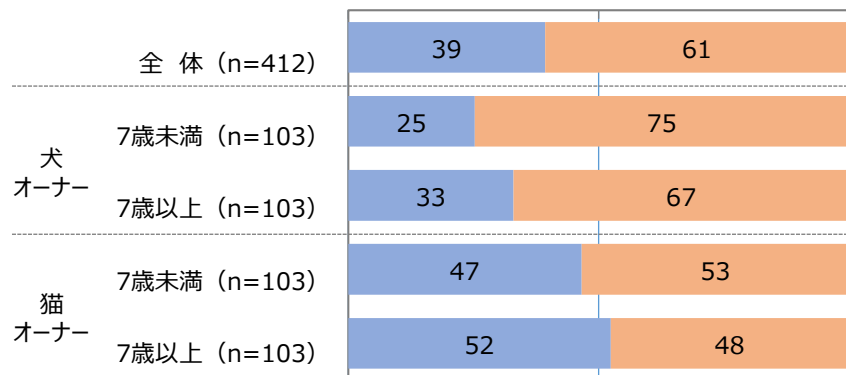
■ 年齢

■ 20~24歳 ■ 25~29歳 ■ 30~34歳 ■ 35~39歳 ■ 40~44歳
■ 45~49歳 ■ 50~54歳 ■ 55~59歳 ■ 60歳以上



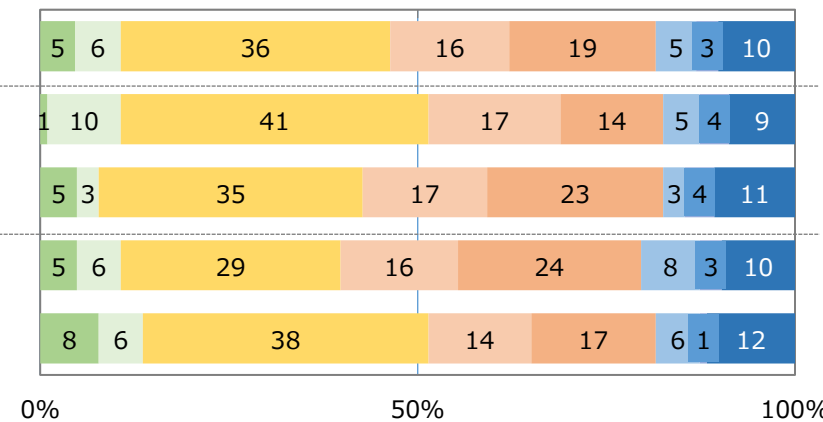
■ 未既婚

■ 未婚 ■ 既婚



■ 居住地域

■ 北海道 ■ 東北地方 ■ 関東地方 ■ 中部地方
■ 近畿地方 ■ 中国地方 ■ 四国地方 ■ 九州地方





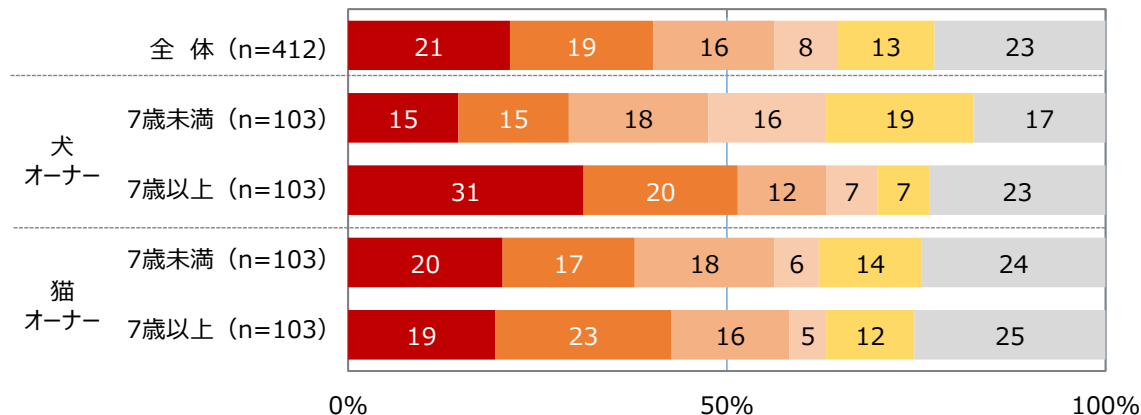
0. 回答者（オーナー）の属性-2

- （前ページ参照）オーナーの年代構成は、60歳以上が31%と約3割を占め、50代以上が49%と約半数。
- オーナー別でみると、犬7歳以上オーナーは60歳以上が約5割、猫7歳以上オーナーは60歳以上が3割強。
- （前ページ参照）オーナーの性別は男女半々だが、猫7歳以上オーナーでは女性比率が高い。また、未既婚は、未婚4対既婚6だが、猫オーナーは犬オーナーに比べて未婚率が高めで、未既婚約半々。
- 世帯年収は、「400万未満」と「400～600万未満」が約2割ずつ。
- オーナー別でみると、犬7歳未満では「1000万以上」が約2割と多いのに対し、犬7歳以上では「400万未満」が約3割と多い。
- 個人年収は「200万未満」が29%で最多。
- 犬猫オーナーとも7歳以上のほうが「200万円未満」が多い。

ペット年齢は最年長のペット。以下同様

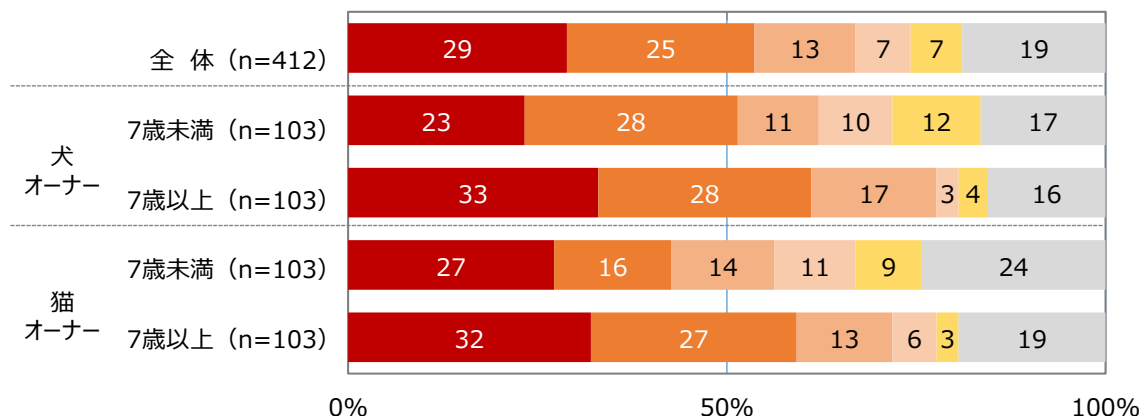
■ 世帯年収

■ 400万未満 ■ 400～600万未満 ■ 600～800万未満
■ 800～1000万未満 ■ 1000万以上 ■ わからない/不明



■ 個人年収

■ 200万未満 ■ 200～400万未満 ■ 400～600万未満
■ 600～800万未満 ■ 800万以上 ■ わからない/不明





1. ペットの実態

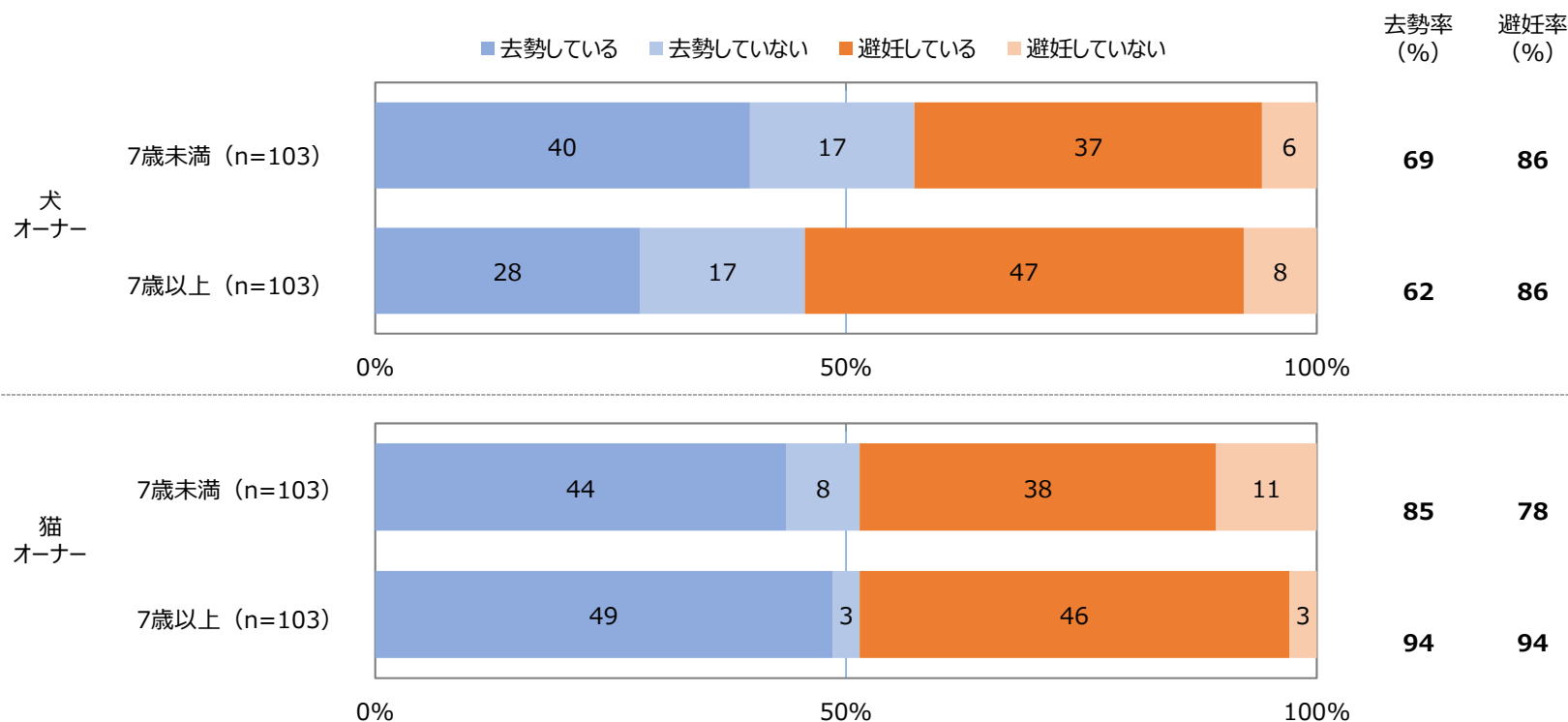
(1) 最年長（調査対象）ペットの性別と去勢・避妊有無

- 最年長ペットの性別をみると、犬7歳未満は雄のほうが多く、7歳以上は雌のほうがやや多い。猫は雌雄ほぼ半々。
- 去勢率は、犬では、7歳未満69%で7歳以上62%より高い。猫の去勢率は犬より高く、7歳未満85%、7歳以上では94%。
- 避妊率は、犬では7歳未満、以上とも86%で、去勢率を大きく上回る。猫の避妊率は7歳未満と以上で差が大きく、7歳未満78%に比べて7歳以上は94%と高い。

■ 最年長ペットの性別/去勢・避妊の有無（Q1/Q2）

Q1 あなたと一緒に暮らしている犬について性別と去勢・避妊の有無をそれぞれお答えください。

Q2 あなたと一緒に暮らしている猫について性別と去勢・避妊の有無をそれぞれお答えください。





1. ペットの実態

(2) 最年長（調査対象）の犬の種類

- 最年長ペットの犬種は下表の通り。
- トイプードルが最も多く34人（犬オーナー全体の17%）、次いで、チワワ27人（同13%）、芝24人（同12%）。

(人)

犬の種類	合計	7歳未満	7歳以上
n =	206	103	103
トイプードル	34	18	16
チワワ	27	15	12
柴	24	10	14
ミックス	17	9	8
ミニチュアダックスフンド	14	4	10
雑種	11	4	7
ポメラニアン	9	5	4
シーズー	7	2	5
ヨークシャーテリア	6	4	2
ラブラドルレトリバー	5	1	4
パグ	4	3	1
マルチーズ	4	1	3
イタリアングレーハウンド	3	3	
フレンチブルドッグ	3	3	
コーギー	3	2	1
パピヨン	3	2	1
ボーダーコリー	3	1	2

犬の種類	合計	7歳未満	7歳以上
n =	206	103	103
ウェルシュコーギー	2	2	
シェットランドシープドッグ	2	1	1
ダックスフンド	2	1	1
ミニチュアシナウザー	2		2
不明	2	1	1

<7歳未満：各1人>

- カニンヘンダックスフント
- シェルティー
- ジャック
- ジャックラッセルテリア
- ドーベルマン
- ピットブル
- プードル
- ペキニーズ
- ロングコートチワワ
- 芝
- 豆芝

<7歳以上：各1人>

- アメリカンピットブル
- ゴールデンレトリバー
- シェルティー
- シベリアンハスキー
- ビーグル
- ビションフリーゼ
- ブリュッセルグリフォン
- 紀州犬





1. ペットの実態

(3) 最年長（調査対象）の猫の種類

- 猫は「雑種」が93人で最も多く、全体の約半分を占める。
- 外国系ではアメリカンショートヘアとスコティッシュフォールドが各14人で相対的に多い。
- 日本系ではキジトラ5人、日本猫4人のほか、「雑種」もほぼ日本系と考えられ、全体では日本系の猫を飼っている人が多いとみられる。

猫の種類	合計	7歳未満	7歳以上
n =	206	103	103
雑種	93	34	59
ミックス	24	12	12
アメリカンショートヘア	14	10	4
スコティッシュフォールド	14	9	5
マンチカン	8	6	2
キジトラ	5	3	1
サイベリアン	4	3	2
シヤム	4	3	1
日本猫	4	3	1
ブリティッシュショートヘア	3	1	2
ラガマフィン	2	2	
ラグドール	2	2	
ノルウェージャンフォレスト	2	1	1
ベンガル	2	1	1
ロシアンブルー	2	1	1
茶トラ	2	1	1
不明	11	6	5

(人)

<7歳未満：各1人>

- エキゾチックショートヘア
- シャルトリュー
- ペルシャ
- ミアキャット
- ミヌエット

<7歳以上：各1人>

- キンカロー
- シンガプーラ
- チンチラシルバー
- トンキニーズ
- 三毛猫



2. ペットの健康状態について

(1) 健康状態 ①オーナー属性別

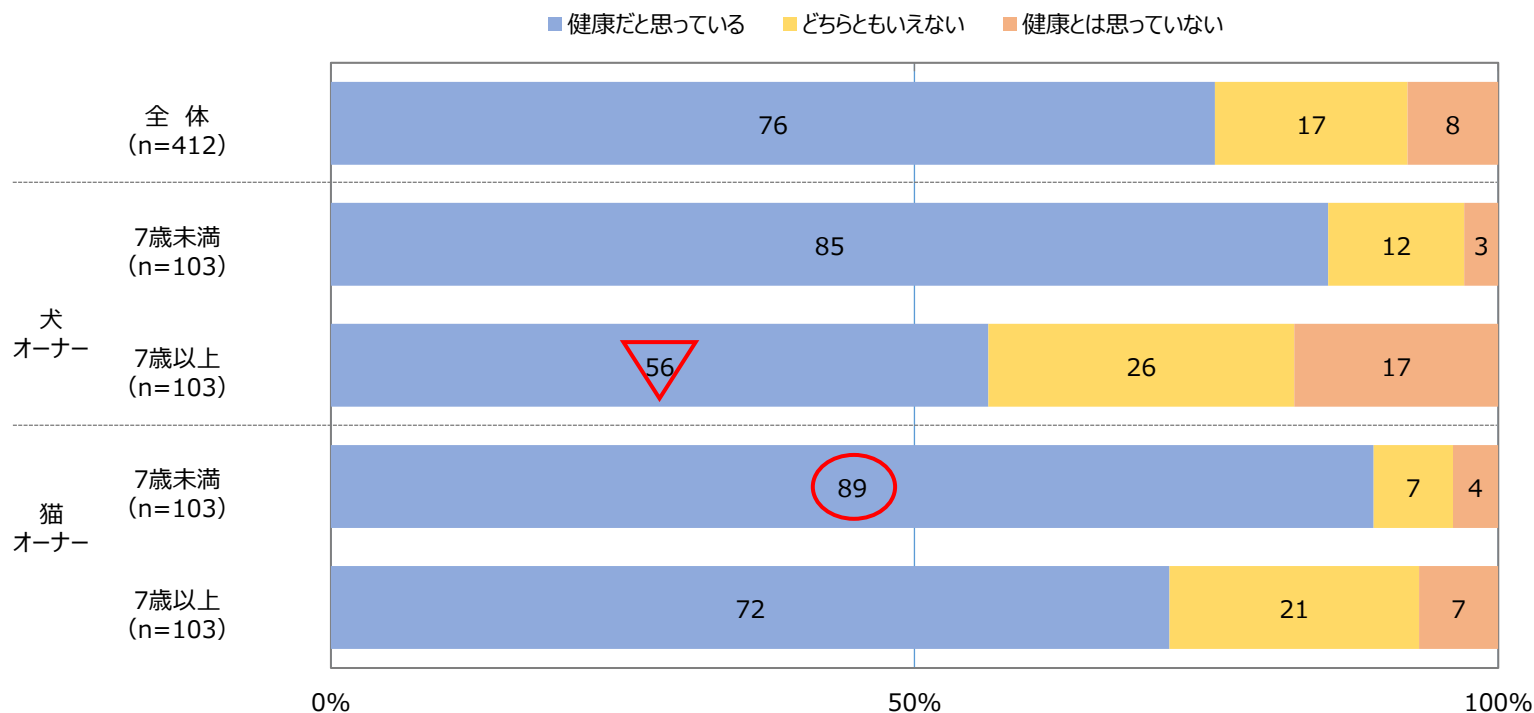


- ペットが「健康だと思っている」オーナーは76%。「健康とは思っていない」が8%。
- オーナー別にみると、犬猫のオーナーとも7歳未満では「健康だと思っている」割合が85%以上と多い。7歳以上になると、「どちらともいえない」や「健康とは思っていない」が増え、特に犬オーナーでは「健康とは思っていない」が17%みられる。

■健康状態 (Q4・SA)

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。

- 全体より10Pt以上多い
- ▽ 全体より10Pt以上少ない



2. ペットの健康状態について

(1) 健康状態 ②健康診断受診状況別

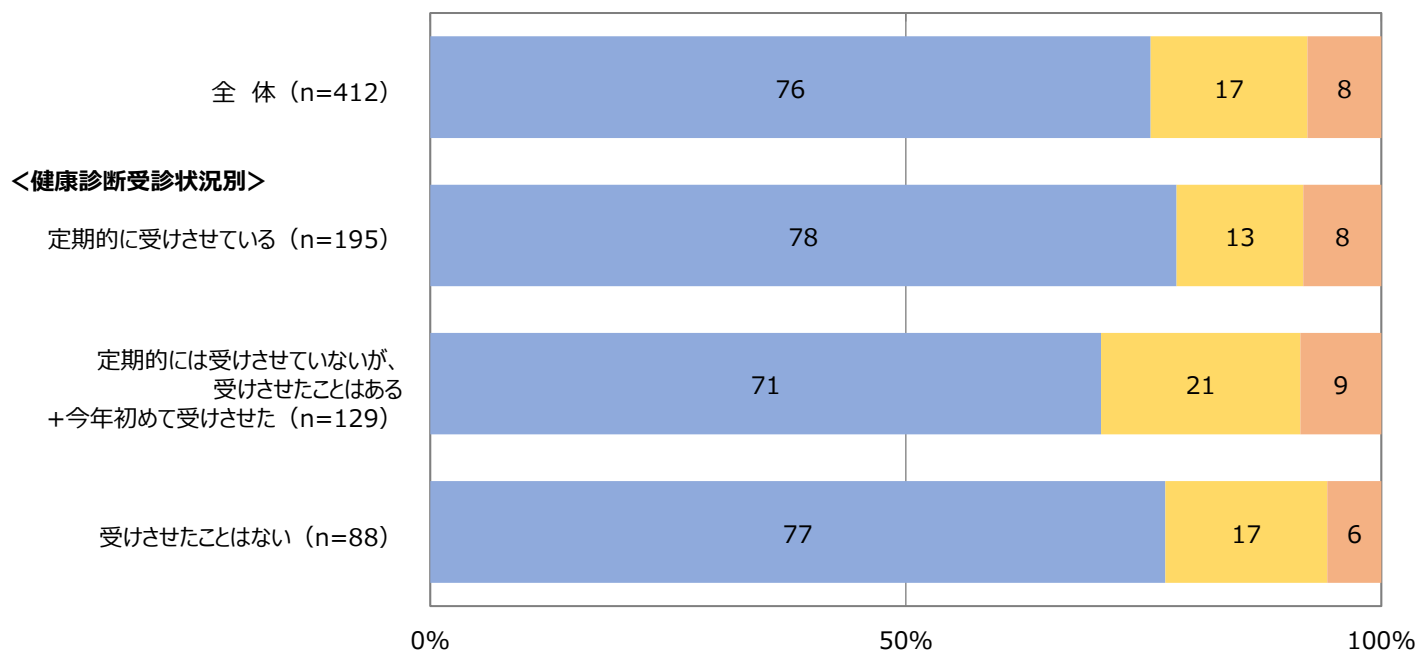


- 健康診断受診状況別にペットの健康状態をみると、定期的受診者と未受診者で「健康だと思っている」割合が高く、77～78%を占める。
- 受診経験者で、「健康とは思っていない」割合が高めとなっている。

■健康状態 (Q4・SA)

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。

■ 健康だと思っている ■ どちらともいえない ■ 健康とは思っていない





2. ペットの健康状態について

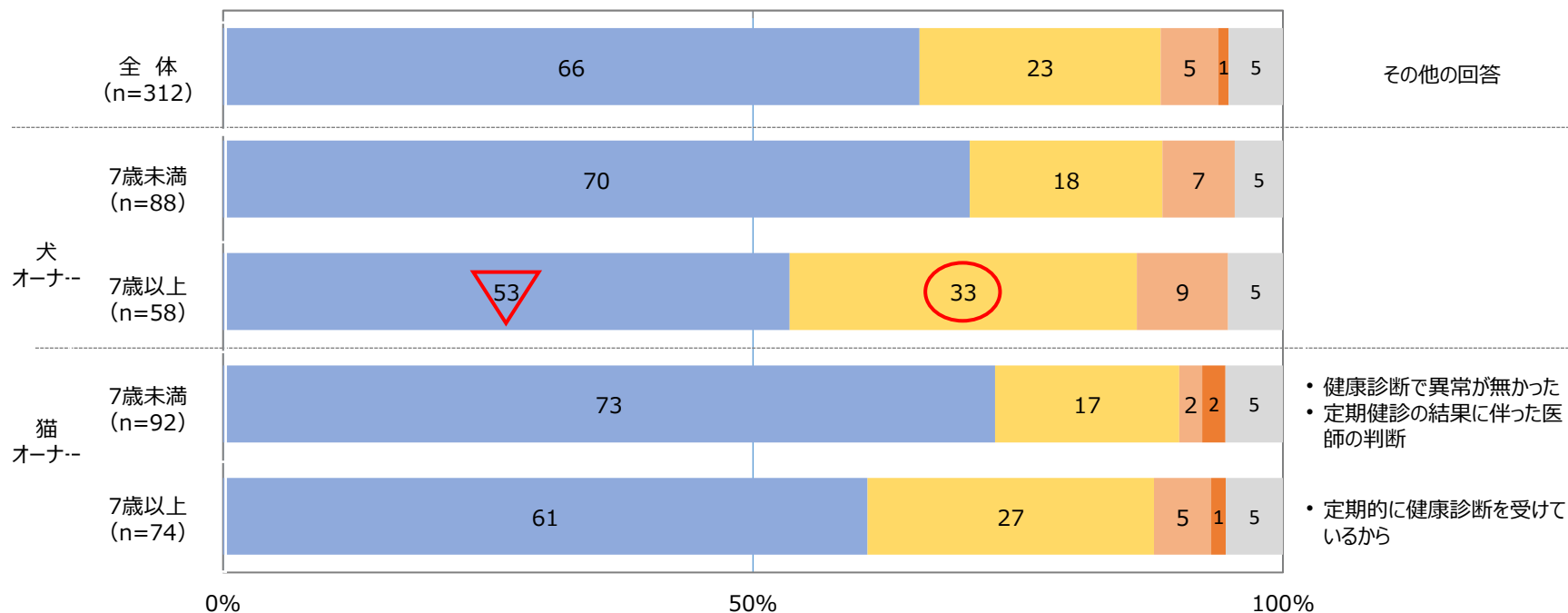
(2) 健康だと思う理由 ①オーナー属性別

- ペットが「健康だと思う理由としては、「これまで病気や異常が見つかったことがない」が66%と約3分の2。次いで、「病気や異常があったことはあるが、今は落ち着いているから」が23%。
- オーナー別にみると、犬猫のオーナーとも7歳未満では「これまで病気や異常が見つかったことがない」割合が約7割と多い。7歳以上では、「病気や異常があったことはあるが、今は落ち着いているから」が3割前後。

■ 健康だと思う理由 (Q6・SA)

Q6 あなたが「ご自分のペットが健康だと思っている」とお答えになったのは、主にどのような理由からですか。

- これまでに病気や異常が見つかったことがないから
 - 病気や異常があったことはあるが、今は落ち着いているから
 - 病気や異常があるかわからないが、今は元気になっているから
 - その他
 - 理由は特にない
- 全体より10Pt以上多い
▽ 全体より10Pt以上少ない





2. ペットの健康状態について

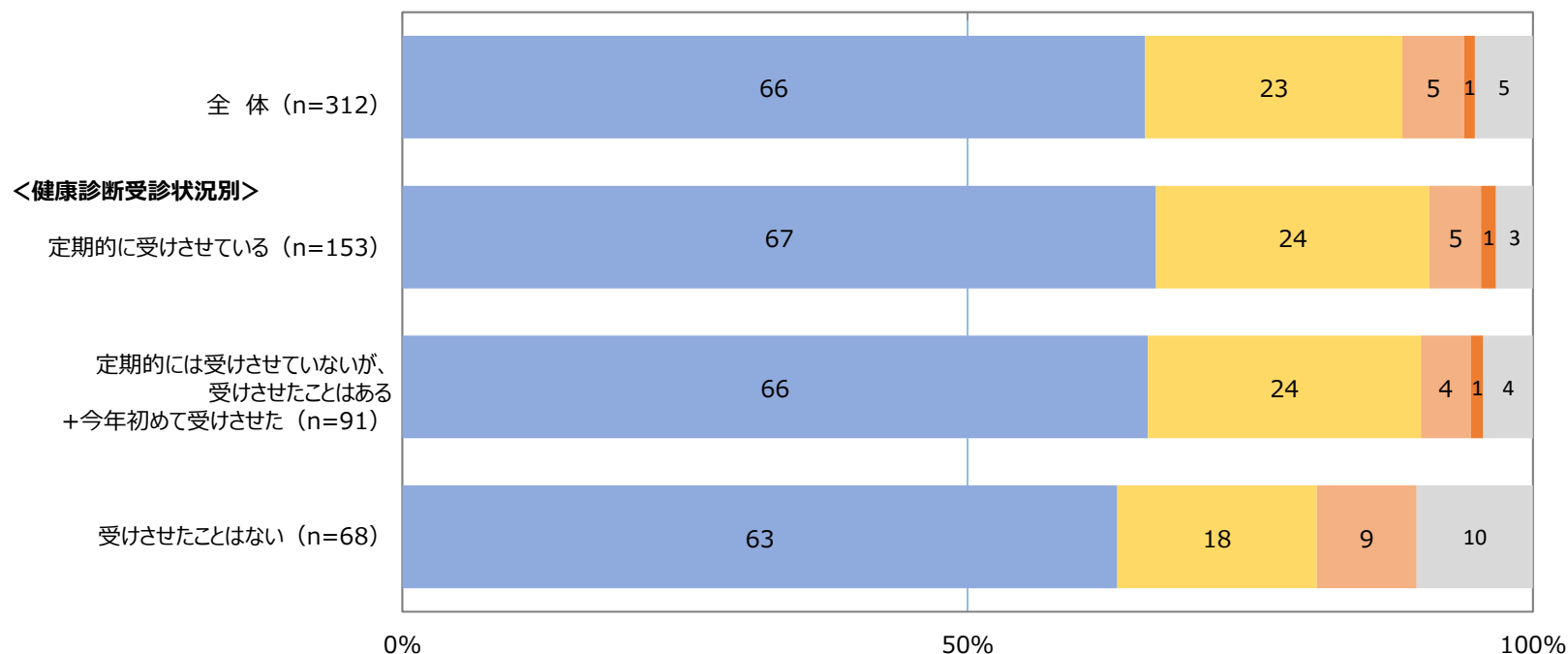
(2) 健康だと思ふ理由 ②健康診断受診状況別

- ペットが「健康だと思ふ理由をみると、定期的受診者や受診経験者は、ほぼ全体と同様。
- 未受診者では、「病気や異常があるかわからないが、今は元気」や「理由は特にない」がやや多い。

■健康だと思ふ理由 (Q6・SA)

Q6 あなたが「ご自分のペットが健康だと思っている」とお答えになったのは、主にどのような理由からですか。

- これまでに病気や異常が見つかったことがないから
- 病気や異常があったことはあるが、今は落ち着いているから
- 病気や異常があるかわからないが、今は元気にしているから
- その他
- 理由は特にない



3. ペットの健康診断について

(1) 受診状況 ①オーナー属性別



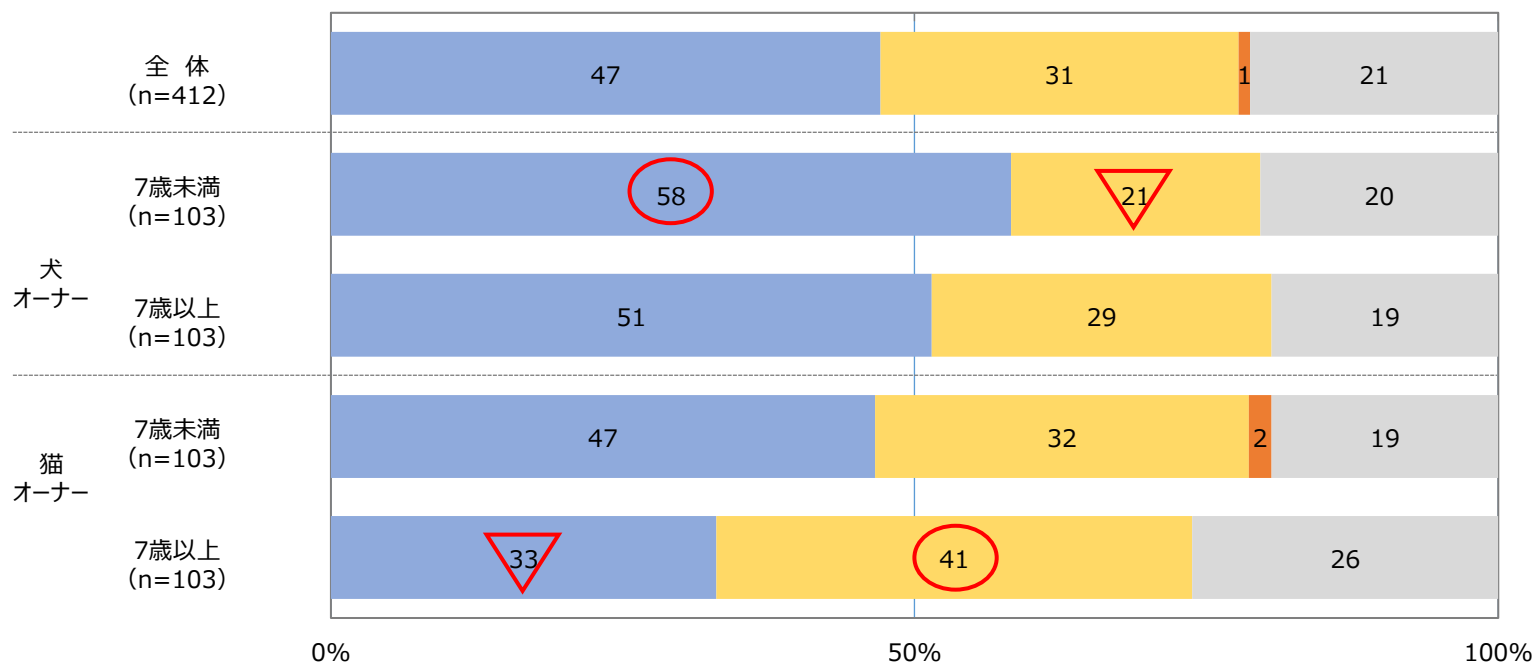
- ペットに定期的に健康診断を受けさせているオーナーは47%と半数弱。定期的ではないが受診経験ありは31%。今年初めて受診は1%。未受診率は21%と2割強。
- オーナー別に「定期的」受診率をみると、猫より犬のほうが多く、犬7歳未満58%。7歳以上51%と5割を超える。
- 猫7歳以上では、定期的受診率が33%と低く、非受診率が26%みられる。

■健康診断の受診状況 (Q7・SA)

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。

○全体より10Pt以上多い
▽全体より10Pt以上少ない

■ 定期的に受けさせている ■ 定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある ■ 今年初めて受けさせた ■ 受けさせたことはない



3. ペットの健康診断について

(1) 受診状況 ②時系列/オーナー属性別

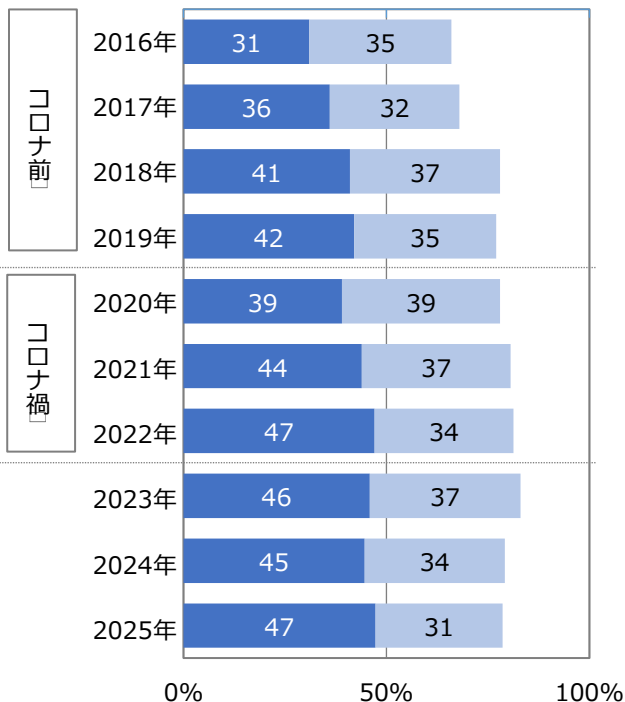


- 「定期的」受診率の推移をみると、2022年以降は45～47%でほぼ横ばいだが、「受診経験あり」は2023年以降減少傾向にある。
- オーナー別に「定期的」受診率をみると、犬猫とも7歳未満は昨年の減少から今年は増加に転じ、犬7歳未満は過去最高の58%。一方、犬猫7歳以上は昨年の増加から一転、今年は減少。それでも、犬は50%台をキープしたものの、猫は33%と昨年より10ポイント以上減った。

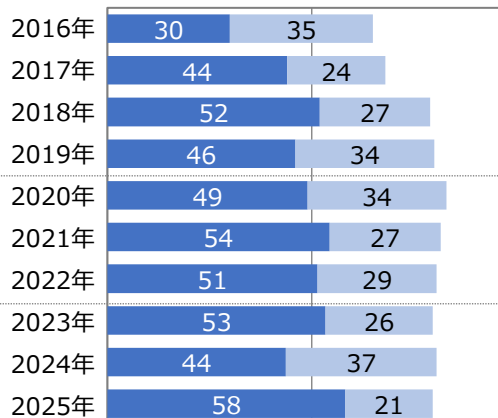
■健康診断の受診状況 (Q7・SA)

■ 定期的に受診 ■ 受診経験あり
※2025年：受診経験ありに「今年初めて受けさせた」も含める

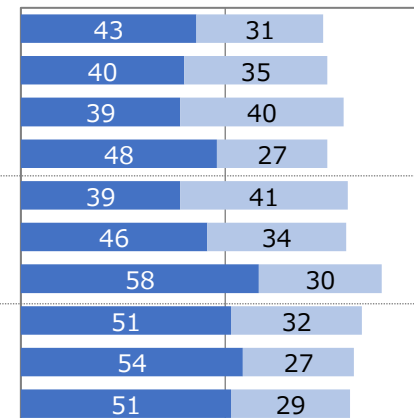
全体 (n=412) %



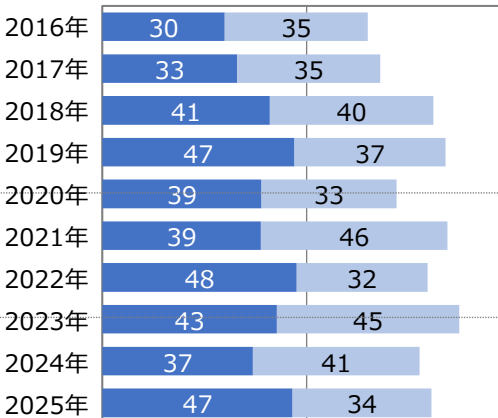
犬オーナー 7歳未満 (n=103) %



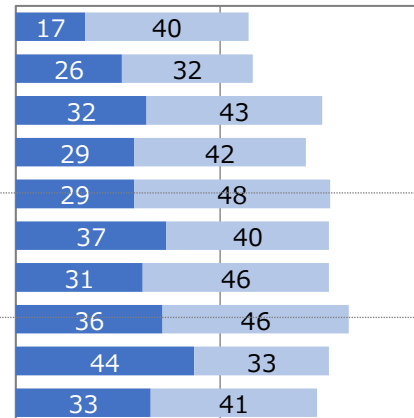
7歳以上 (n=103) %



猫オーナー 7歳未満 (n=103) %



7歳以上 (n=103) %





3. ペットの健康診断について

(1) 受診状況 ③時系列/犬全体・猫全体

- 日本ペットフード協会の年齢構成データをもとにウェイトバックをかけた10年間の「犬全体」および「猫全体」の健康診断の受診率推移は下記の通り。
- 犬全体、猫全体ともにコロナ禍の2020年は「定期的受診率」が下がった。それ以降、犬の定期的受診率は増減を繰り返し、今年は昨年の減少から増加に転じ、54.5%と過去2番目に高い受診率となっている。猫の定期受診率は2022年以降ほぼ横ばいの40%前後で推移している。

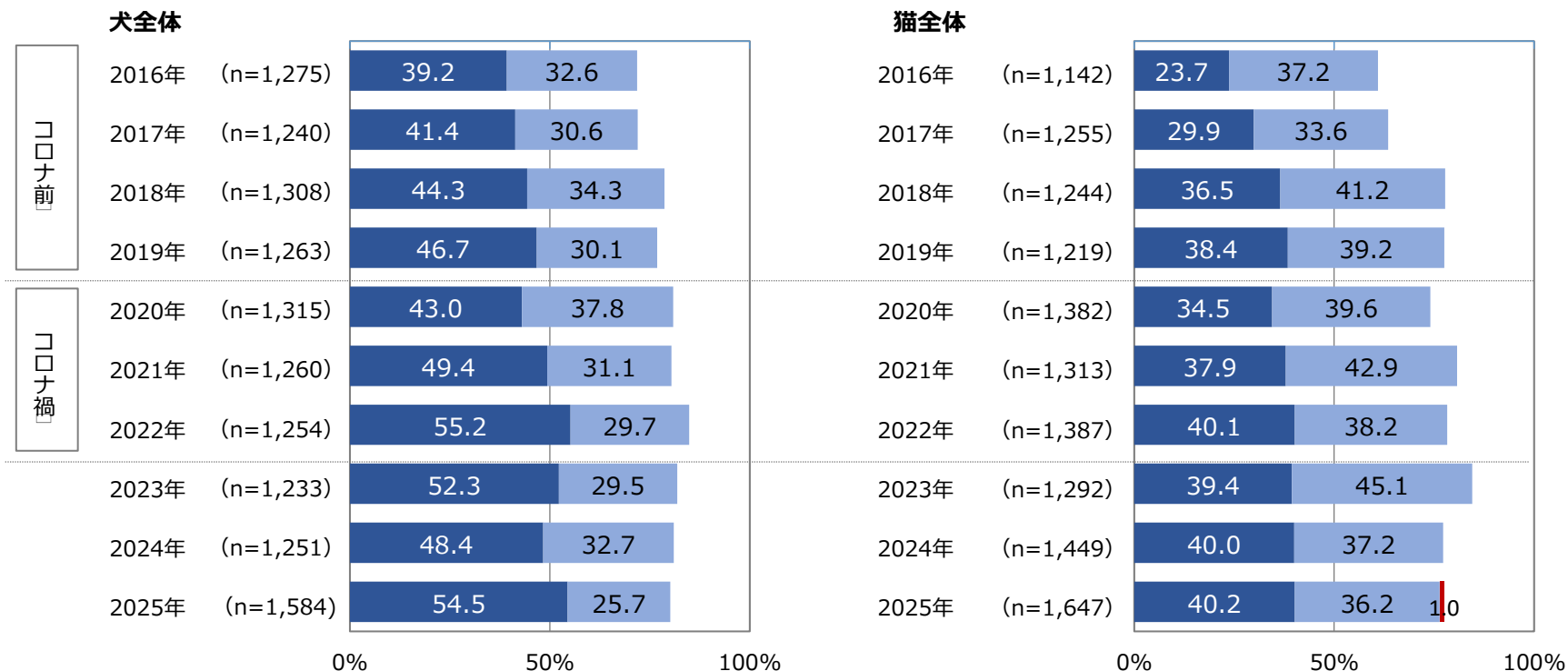
■ 健康診断の受診状況 (Q7・SA)

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。

- 定期的に受けさせている
- 定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある
- 今年初めて受けさせた*

* 日本ペットフード協会の年齢構成データをもとにウェイトバックをかけて出した数字
2023年は日本ペットフード協会の調査が公表されていないため、2022年と同じウェイトバック値で算出

*2025年新規選択肢
犬は該当なし





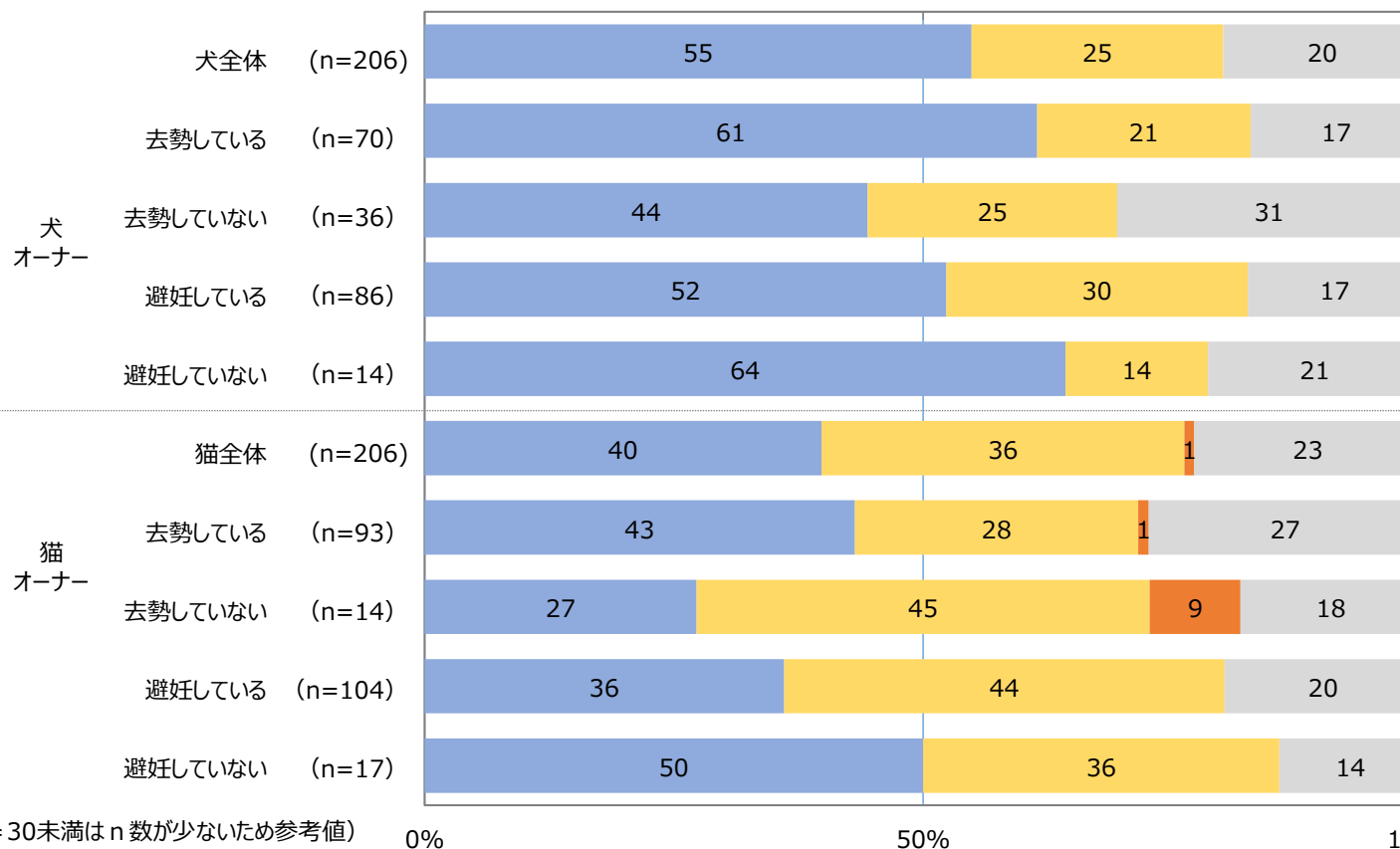
3. ペットの健康診断について

(1) 受診状況 ④去勢・避妊有無別

健康診断の受診状況をペットの去勢・避妊の有無別で見ると、犬猫オーナーとも、雄に関しては、去勢しているオーナーのほうが定期的受診率が高い。雌に関しては避妊していないn数が少ないため参考値。

■ 健康診断の受診状況 (Q7・SA) Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。

■ 定期的に受けさせている ■ 定期的には受けさせていないが、今年初めて受けさせた ■ 受けさせたことはない





3. ペットの健康診断について

(2) 受診開始年齢

- 健診経験者の初めての受診年齢をみると、現在7歳未満では犬猫とも「0～1歳」が多く、犬は79%、猫は76%。現在7歳以上では初受診年齢が分散しており、「2歳以上」での初率が犬猫とも約55%。
- 定期的受診者における定期健診の開始年齢をみても、犬猫とも現在7歳未満は「0歳」「1歳」が多い。現在7歳以上をみると、犬猫とも似たような分布となっており、10歳以上で初めて健診を受けさせるケースも6～8%みられる。

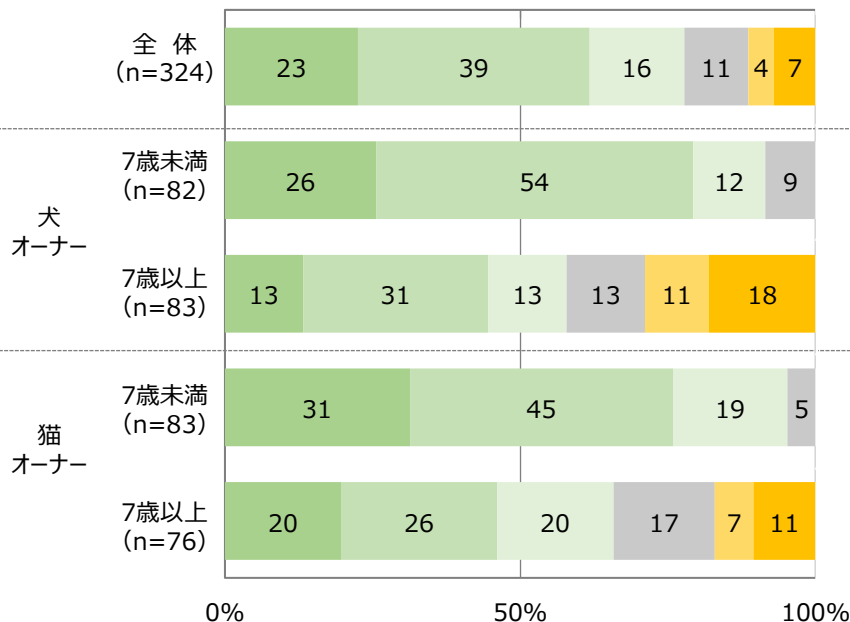
■ 初めて健康診断を受けさせた年齢 (Q8)

(健康診断「定期的+受診経験あり」+今年初)

Q8 あなたはそのペットが何歳の時に初めて健康診断を受けさせましたか。

0歳 1歳 2-3歳 4-6歳 7-9歳 10歳以上

0～1歳
計
(%)



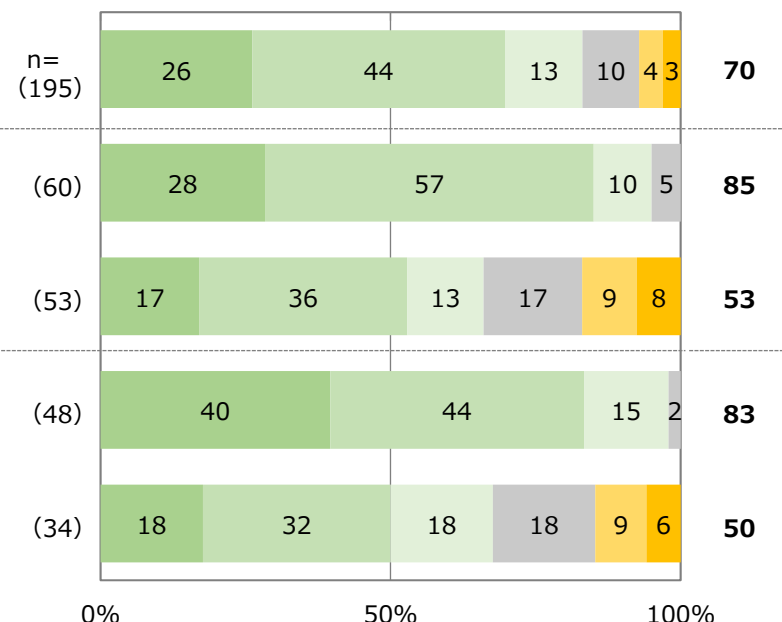
■ 初めて定期健診を受けさせた年齢 (Q9)

(健康診断「定期的」受診)

Q9 あなたはそのペットが何歳の時から、定期的に健康診断を受けさせていますか？

0歳 1歳 2-3歳 4-6歳 7-9歳 10歳以上

0～1歳
計
(%)





3. ペットの健康診断について

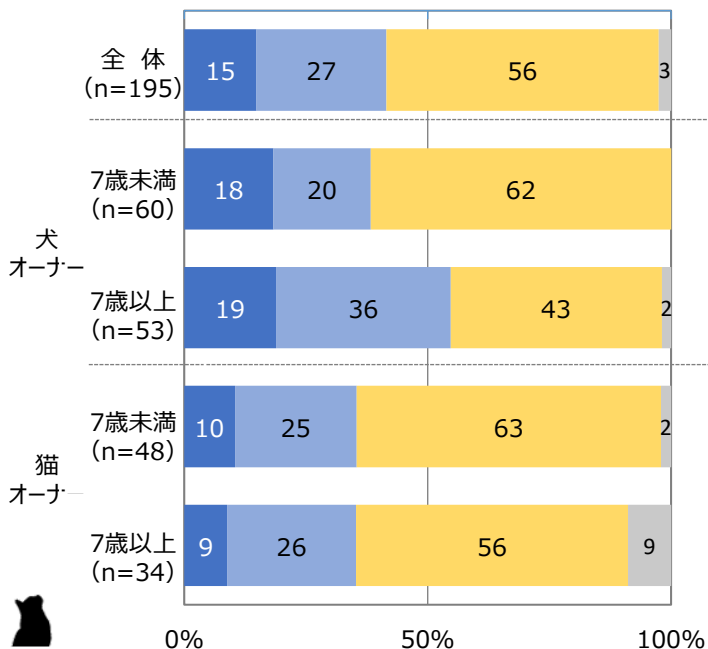
(3) 受診頻度

- 定期的受診者における受診頻度をみると、「1年に1回程度」が56%と最多で、「1年に2回程度」が27%。「年2回以上」は約4割。
- オーナー別にみると、犬7歳以上で受診頻度が多めで、「年2回以上」が55%と半数を超える。
- 「年2回以上」の割合を時系列でみると、全体では昨年とほぼ同率。オーナー別では、犬の7歳未満が昨年より減少。一方、犬7歳以上と猫7歳未満は昨年より増加。

■ 受診頻度 (Q10・SA) (健康診断「定期的」受診)

Q10 定期的に健康診断を受けさせている方にお伺いします。
頻度をお答えください。

- 1年に3回以上
- 1年に2回程度
- 1年に1回程度
- 4年に1回以下
- 2~3年に1回程度



<1年に2回以上受診した割合>

	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
全体	127	35	147	30	168	37	174	41	160	44	181	39	194	43	189	40	184	40	195	42
犬オーナー	35	34	45	40	53	34	47	38	50	58	32	53	55	55	49	45	49	60	38	
猫オーナー	31	36	34	21	42	43	48	44	40	43	40	50	49	43	44	27	38	26	48	35
7歳以上 (犬)	44	36	41	34	40	40	49	45	40	38	47	40	60	40	53	45	56	43	53	55
7歳以上 (猫)	17	29	27	19	33	30	30	37	30	47	38	34	32	28	37	32	45	38	34	35



3. ペットの健康診断について

(4) 受診のきっかけ

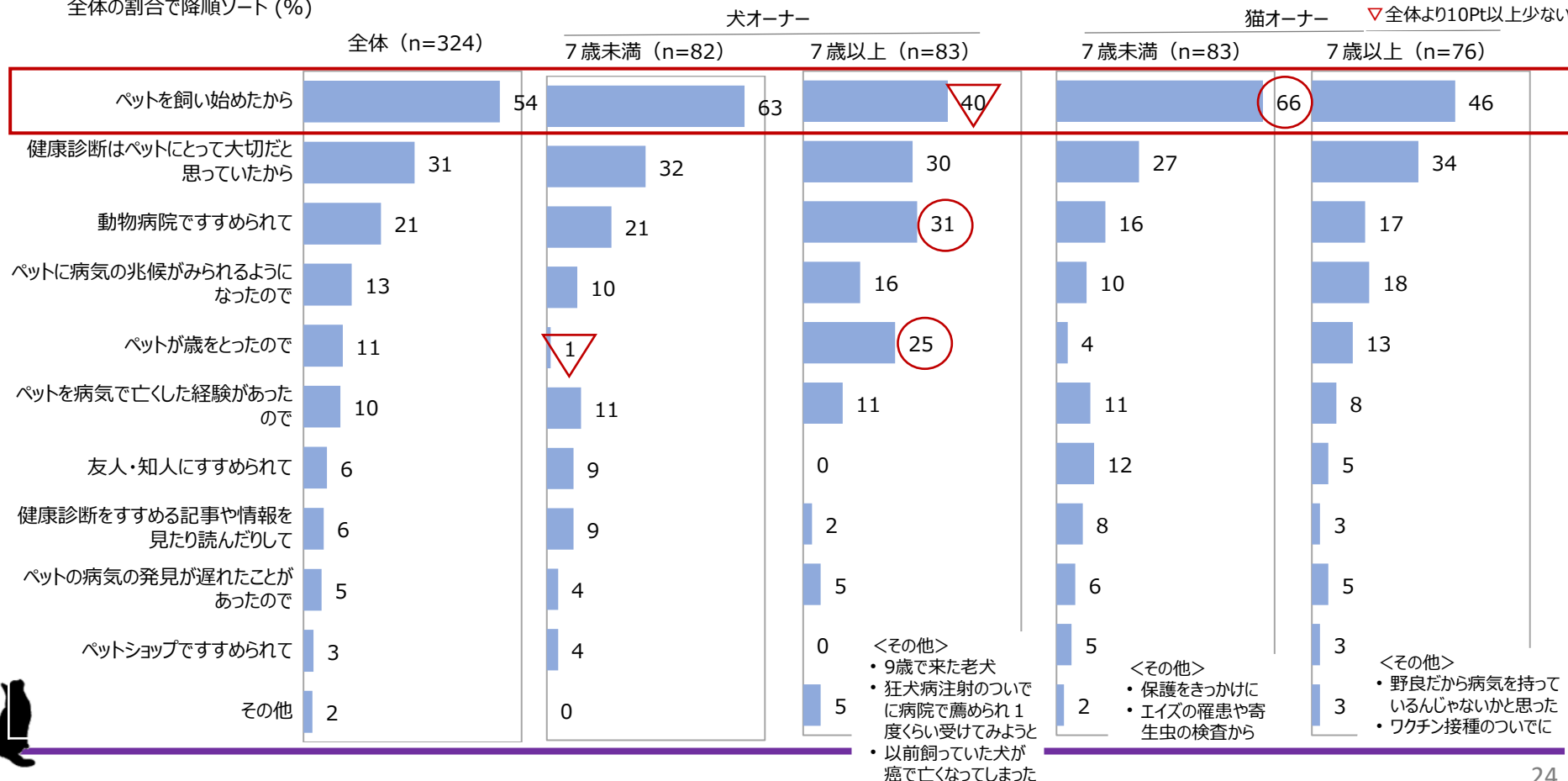
- ペットに健康診断を受けさせるきっかけとしては、「ペットを飼い始めたから」が54%で最多。次いで、「健康診断はペットにとって大切だと思っていた」が31%、「動物病院ですすすめられて」21%が続く。
- オーナー別でみてもトップは共通して「ペットを飼い始めたから」。「健康診断は大切」はオーナーに関係なく、ほぼ3割があげている。そのほか、犬7歳以上では、「動物病院ですすすめられて」「ペットが歳をとったので」が他より多い。

■ ペットに健康診断を受けさせるようになったきっかけ (Q11・MA)

Q11 あなたがペットに健康診断を受けさせるようになったきっかけをお答えください。
(健康診断「定期的+受診経験あり+今年初」)

全体の割合で降順ソート (%)

○全体より10Pt以上多い
▽全体より10Pt以上少ない





3. ペットの健康診断について

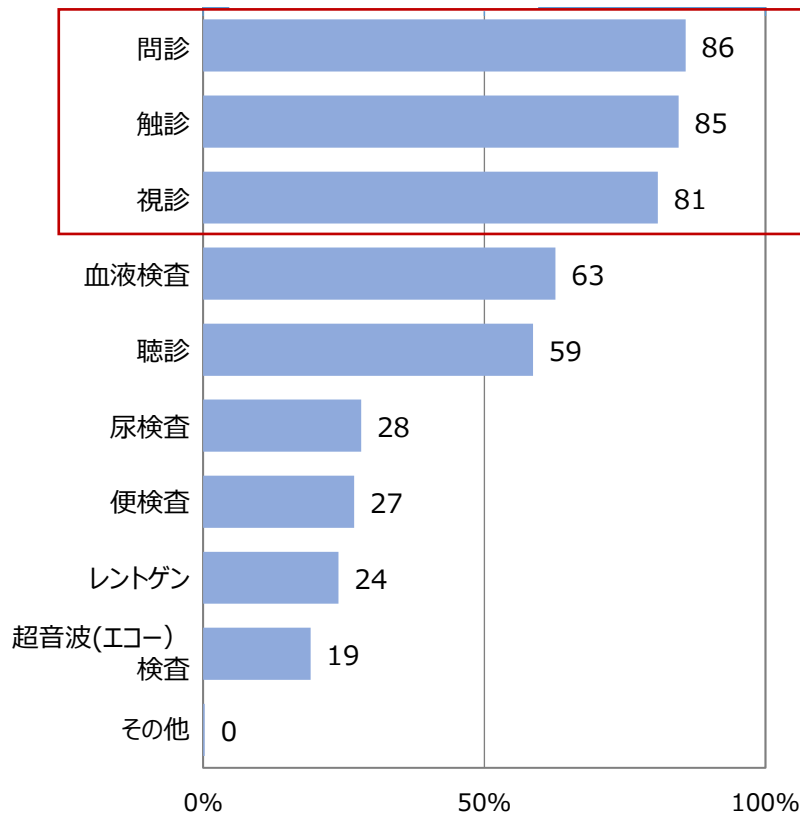
(5) 健診内容 ①オーナー属性別

- 受診率が高い健診内容は順に、「問診」86%、「触診」85%、「視診」81%。以下、「血液検査」「聴診」が続く。
- オーナー別にみても、受診率に多少差はあるものの、上位3内容は共通。そのほか、犬、猫とも7歳以上では7歳未満に比べて「血液検査」や「超音波」受診率が高め。一方、7歳未満では「便検査」が高め。

■ 健診内容 (Q12・MA) (健康診断「定期的+受診経験あり+今年初」)

Q12 健康診断を受けさせたことがある方にお伺いします。健診はどのような内容ですか。

(n=324) 全体の割合で降順ソート



(%)

	犬オーナー 7歳未満 n=82	犬オーナー 7歳以上 n=83	猫オーナー 7歳未満 n=83	猫オーナー 7歳以上 n=76
問診	89	82	87	86
触診	83	82	90	83
視診	83	80	82	79
血液検査	61 <	67	55 <	67
聴診	55	58	58 <	64
尿検査	28 >	22	29	34
便検査	28 >	20	34 >	25
レントゲン	26	27	23	21
超音波(エコー)検査	16 <	23	16 <	22
その他	1	0	0	0
心雑音、呼吸				

■ 受診率トップ
< > 6ポイント以上
差あり



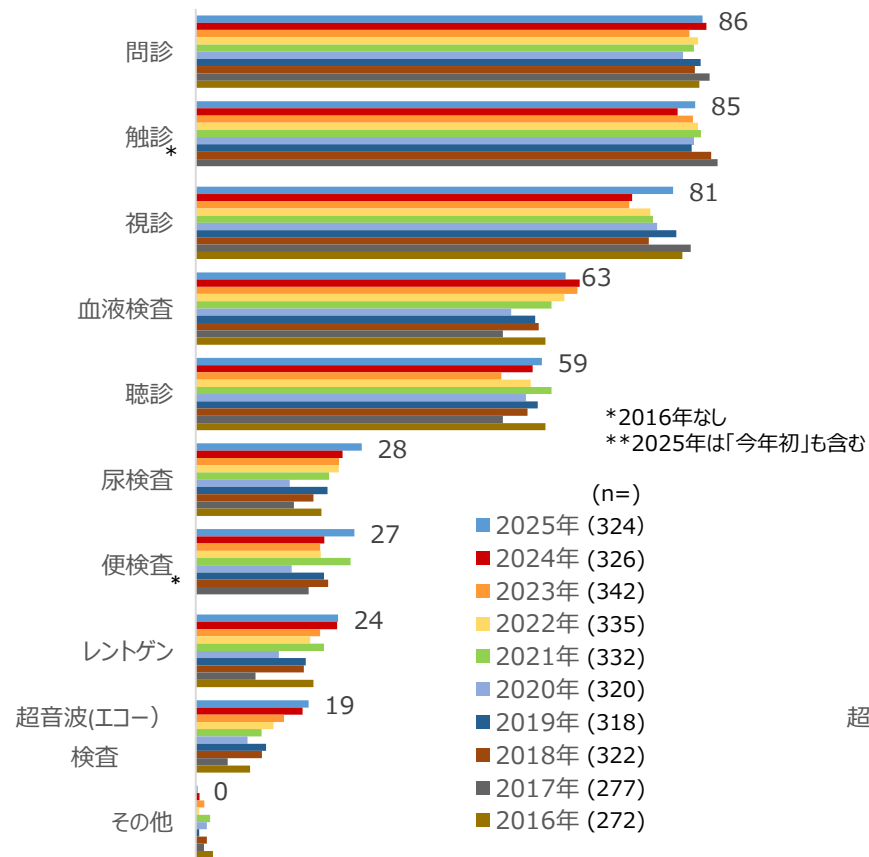
3. ペットの健康診断について

(5) 健診内容 ②全体時系列

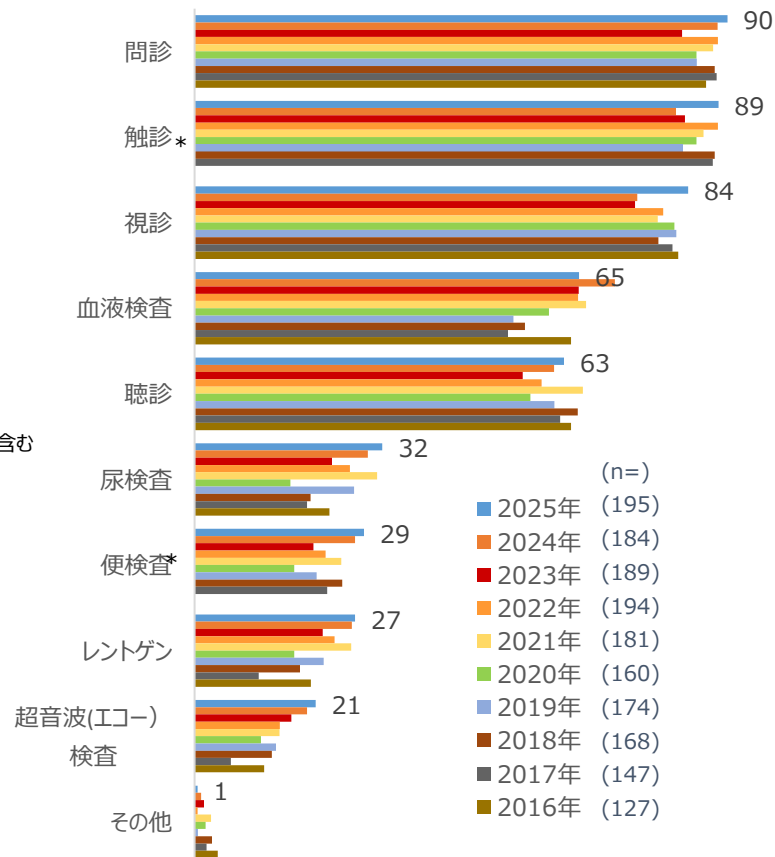
- 健診内容を時系列で見ると、年により順位の変動はあるものの、この10年間のTOP3は「問診、触診、視診」（ただし、「触診」は2016年は項目なし）。大半の内容が、今年は受診率がアップしている。昨年より減ったのは、「問診」「血液検査」のみで、減少幅は1～2%と小さい。
- 定期的受診者に関しては、昨年から今年にかけて「血液検査」以外は増えている。

■ 健診内容 (Q12・MA) Q12 健康診断を受けさせたことがある方にお伺いします。健診はどのような内容ですか。

■ (健康診断「定期的+受診経験あり**」)



■ 健康診断「定期的に受診」





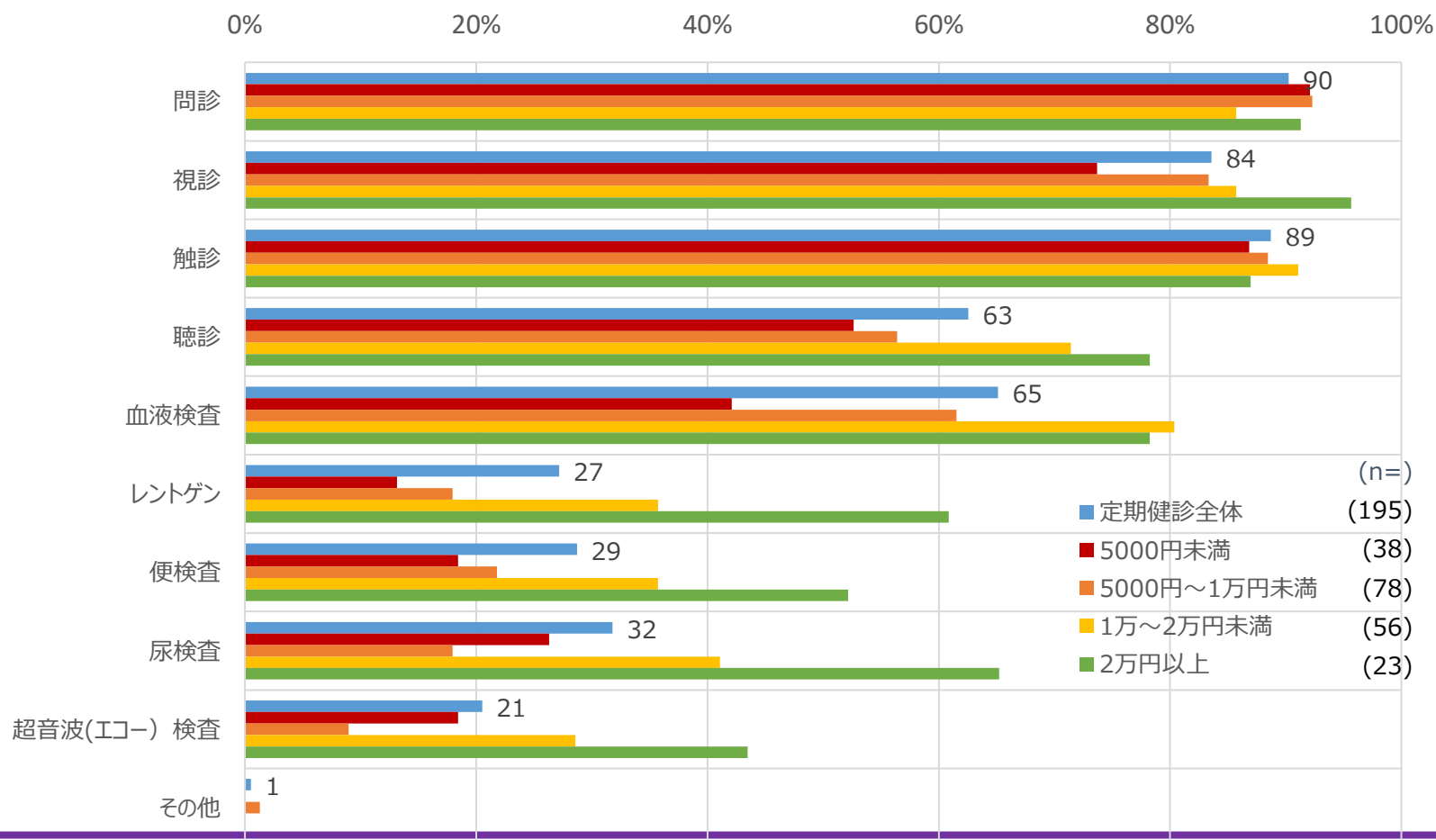
3. ペットの健康診断について

(5) 健診内容 ③1回当たりの健診金額別

・健診内容を1回当たりの健診金額別にみると、問診と触診は、金額関係なく受診率が高いが、それ以外の項目は、高額オーナーほど受診率が高い傾向がみられる。ただ、尿検査と超音波検査に関しては、5000円～1万円未満より5000円未満のほうが受診率が高くなっている。

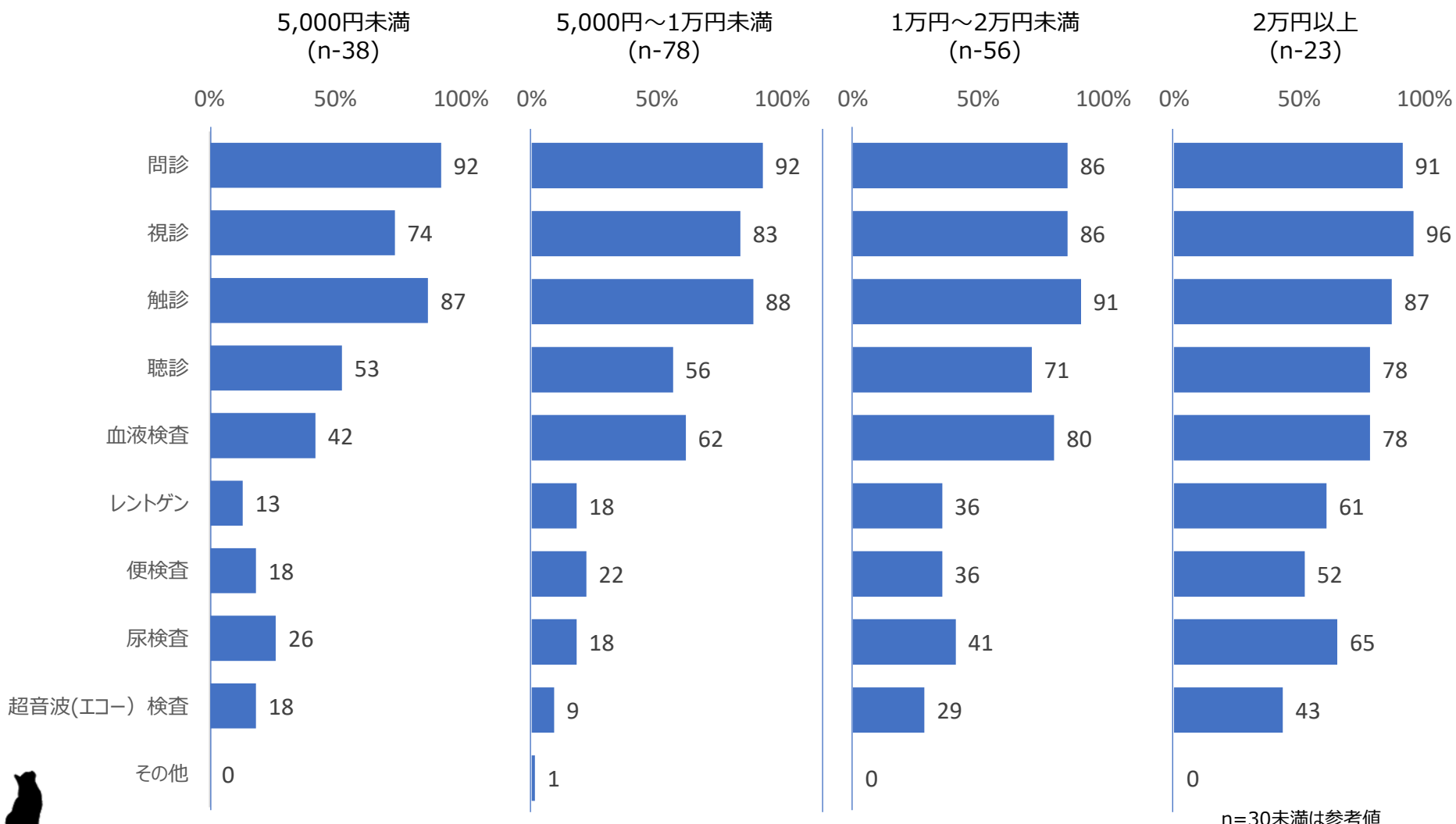
■ 健診内容 (Q12・MA) Q12 健康診断を受けさせたことがある方にお伺いします。健診はどのような内容ですか。

健康診断「定期的に受診」のみ、1回当たりの健診金額別



3. ペットの健康診断について

(5) 健診内容 ③1回当たりの健診金額別



n=30未満は参考値





3. ペットの健康診断について

(6) 健康診断で見つかった病気・異常

- 健康診断で病気や異常が見つかったことがある割合は22%。犬7歳以上で見つかった割合が多く、3割を超える。
- 病気や異常が見つかったオーナーベースでみると、見つかった部位は「循環器」が25%で最多。次いで、「泌尿器」「消化器」「皮膚」が続く。

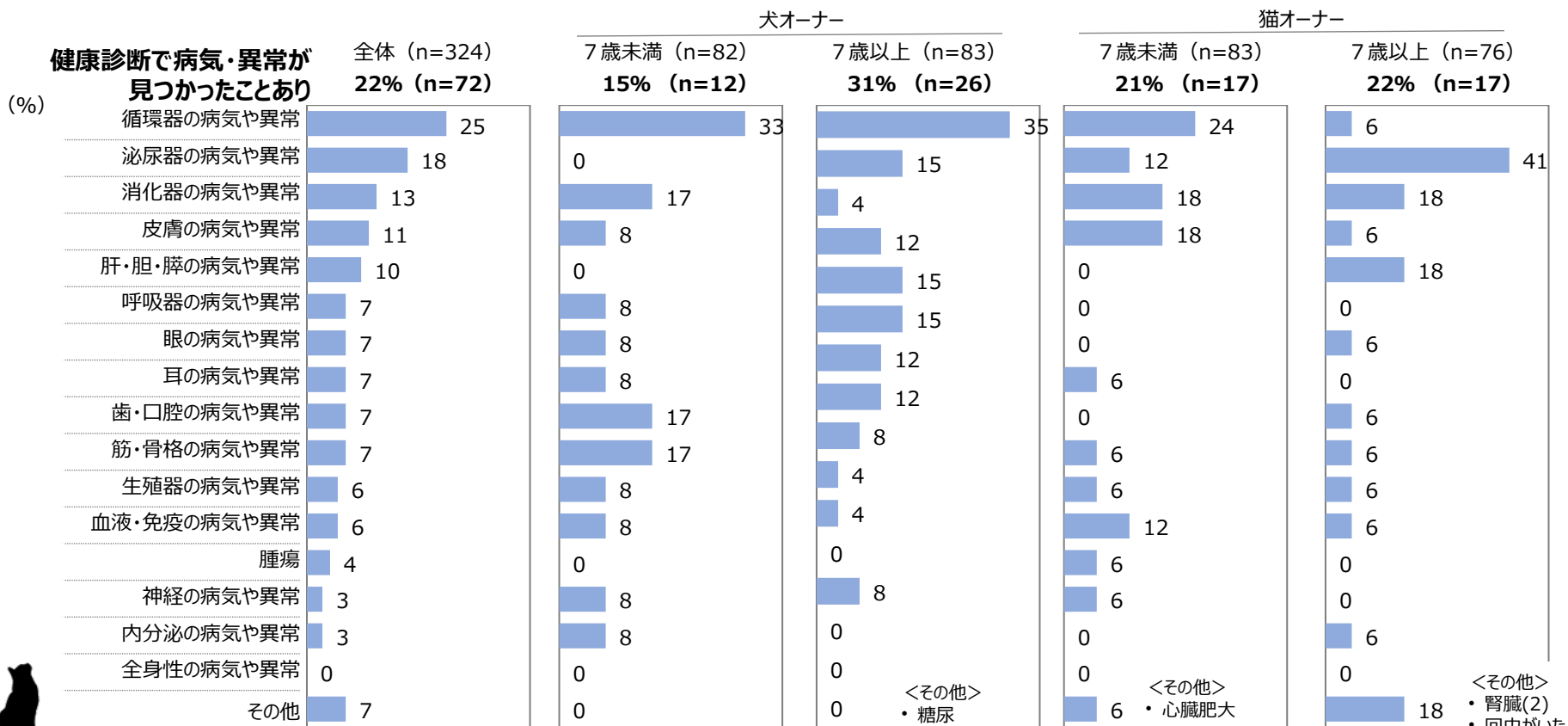
■ 健康診断で見つかった病気や異常 (Q13・SA/Q14・MA) (健康診断「定期的 + 受診経験あり + 今年初」)

Q13 健康診断を受けて、病気や異常が見つかったことがありますか。

Q14 どんな病気や異常が見つかりましたか。(いくつでも)

Q14は全体の割合で降順ソート

*オーナー別はn数が少ないため参考値



3. ペットの健康診断について

(7) 1回当たりの金額 ①受診者の実態と妥当額 ※今年新設質問



- 1回当たりの健康診断金額は「5000～1万円未満」が最多で43%。次いで、「1万円～2万円未満」が27%、「5000円以下」が19%。
- オーナー別でみると、犬は年齢関係なく、ほぼ全体と同様分布だが、猫は7歳未満では「5000円未満」が多く、7歳以上では「5000円～1万円未満」が多い。
- 健診受診者が妥当と思う金額をみると、ボリュームゾーンは「5000～1万円未満」43%で実際と同率。次いで「5000円以下」が29%で、実際より10ポイント多く、より安いことを望む人が一定割合存在する。

■ 1回当たりの健康診断金額 (Q15・SA) (健康診断「定期的 + 受診経験あり + 今年初」)

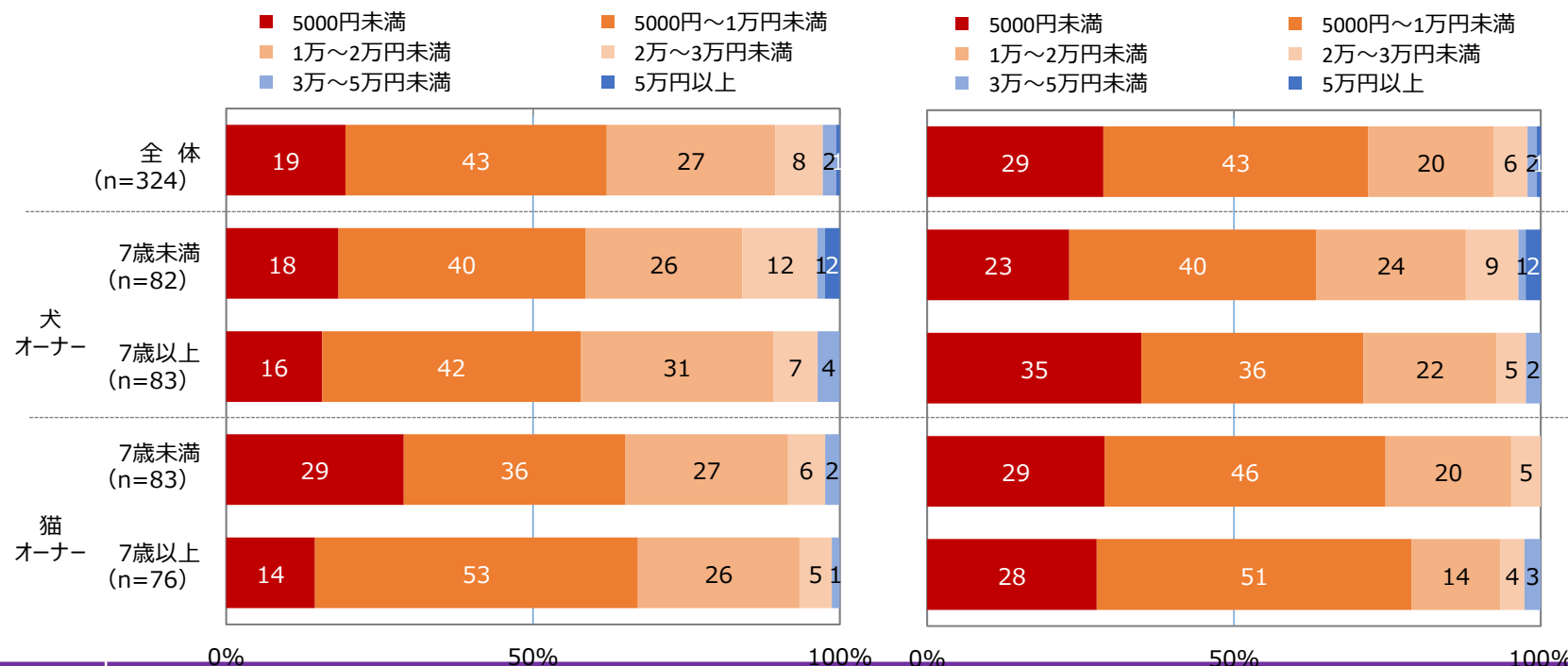
■ 1回当たりの妥当な健康診断金額 (Q16・SA) (健康診断「定期的 + 受診経験あり + 今年初」)

Q15 1回の健康診断のおおよその金額はどのくらいですか。当てはまるものを選んでください。(1つだけ) ※複数回受けさせたことがある方は最も最近の健康診断についてお答えください。

Q16 あなたは、健康診断の1回金額について、どれくらいが妥当だと思いますか。(健康診断とは、問診、視診、触診、聴診、血液検査、レントゲン、尿検査を含む) (1つだけ)

■ 1回当たりの健康診断金額 (Q15・SA)

■ 1回当たりの妥当な健康診断金額 (Q16・SA)



3. ペットの健康診断について

(7) 1回当たりの金額 ② 妥当額

※今年新設質問

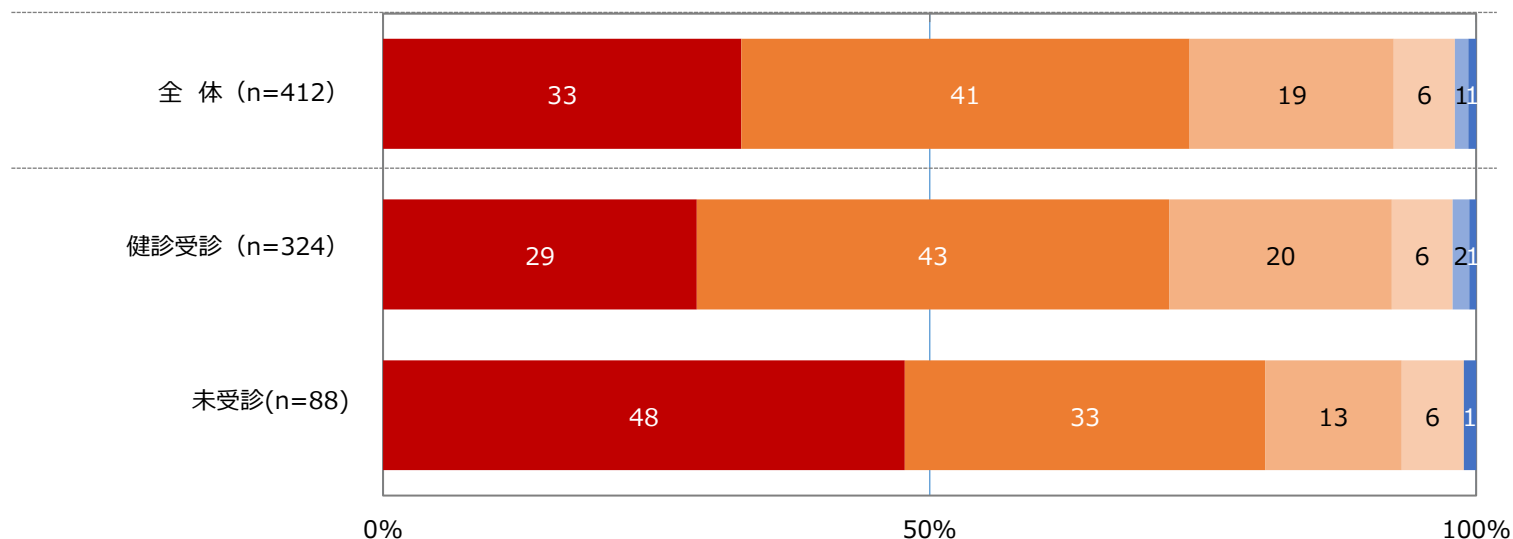


- 1回当たりの妥当な健康診断費用を、健診受診者と未受診者と比べると、未受診者では「5000円未満」が約20ポイント多く、48%と半数近くを占める。一方で、「2万円以上」とする人も1割弱みられる。

■ 1回当たりの妥当な健康診断費用 (Q16・SA)

Q16 あなたは、健康診断の1回の金額について、どれくらいが妥当だと思われますか。
(健康診断とは、問診、視診、触診、聴診、血液検査、レントゲン、尿検査を含む) (1つだけ)

■ 5000円未満 ■ 5000円～1万円未満 ■ 1万～2万円未満 ■ 2万～3万円未満 ■ 3万～5万円未満 ■ 5万円以上





3. ペットの健康診断について

(8) 結果報告方法 ※今年新設質問

- 結果報告の実際の方法としては「獣医師からの口頭説明」46%と「獣医師からの口頭説明+検査結果をまとめた報告書」48%がほぼ同率で多数を占める。オーナー別でみると、犬7歳以上では、「獣医師からの口頭説明がなく「報告書」のみ受け取ったが8%と相対的に多い。
- 結果報告の方法に関する希望としては「獣医師からの口頭説明+検査結果をまとめた報告書」が55%と半数を超えて最多。ただ、「口頭説明」だけでよいとする人も34%と3分の1みられる。オーナー別でみると、犬猫とも7歳以上では、「報告書のみ」でよいも1割。

■健康診断の結果報告方法：実態と希望（Q17・SA/Q18・SA）（健康診断「定期的+受診経験あり+今年初」）

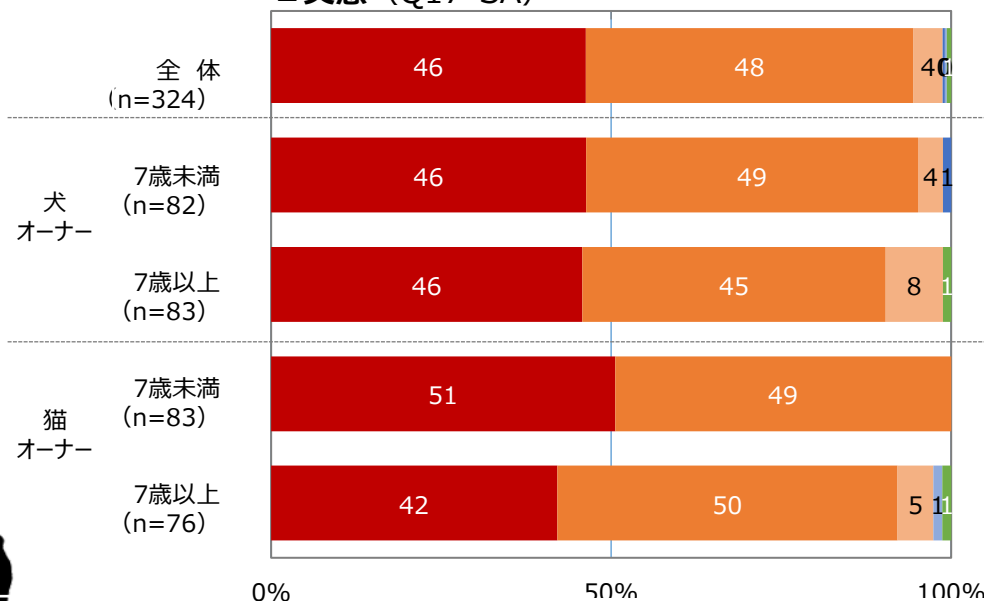
Q17 健康診断の結果の報告は、どのようにして行われましたか。※複数回受けさせたことがある方は最も最近の健康診断についてお答えください。（ひとつ）

※最も最近の健康診断の結果を受け取っていない方は、受け取る予定の方法をお選びください。

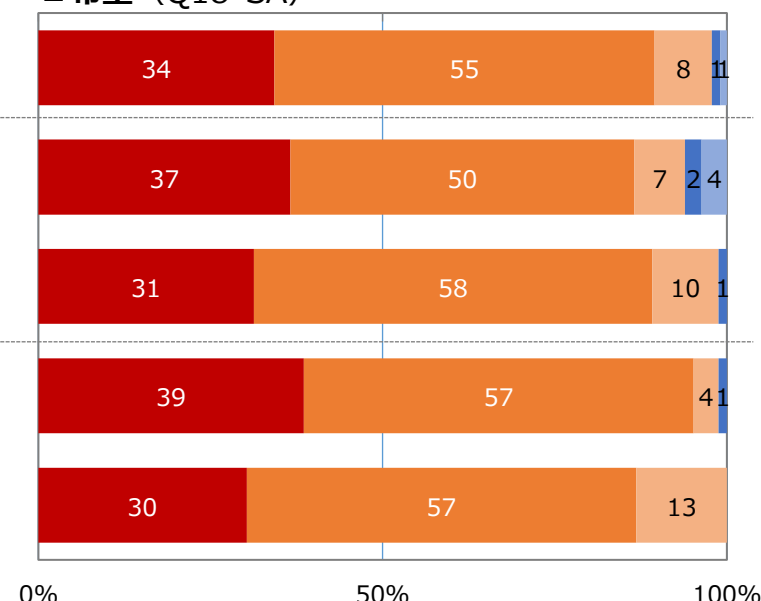
Q18 健康診断の結果の報告は、どのような方法で受け取りたいと思いますか。（ひとつ）

- 獣医師から口頭で説明
- 検査結果をまとめた報告書
- LINEやメールで検査結果をまとめた報告書
- 獣医師から口頭で説明を受け、検査結果をまとめた報告書
- LINEやメールで健康診断の結果の簡単な連絡
- その他の方法

■ 実態 (Q17・SA)



■ 希望 (Q18・SA)



<その他> 血液検査報告書（犬7歳以上）
報告書を受け取った後に説明を聞きに行った（猫7歳以上）



3. ペットの健康診断について

(9) 非受診の理由

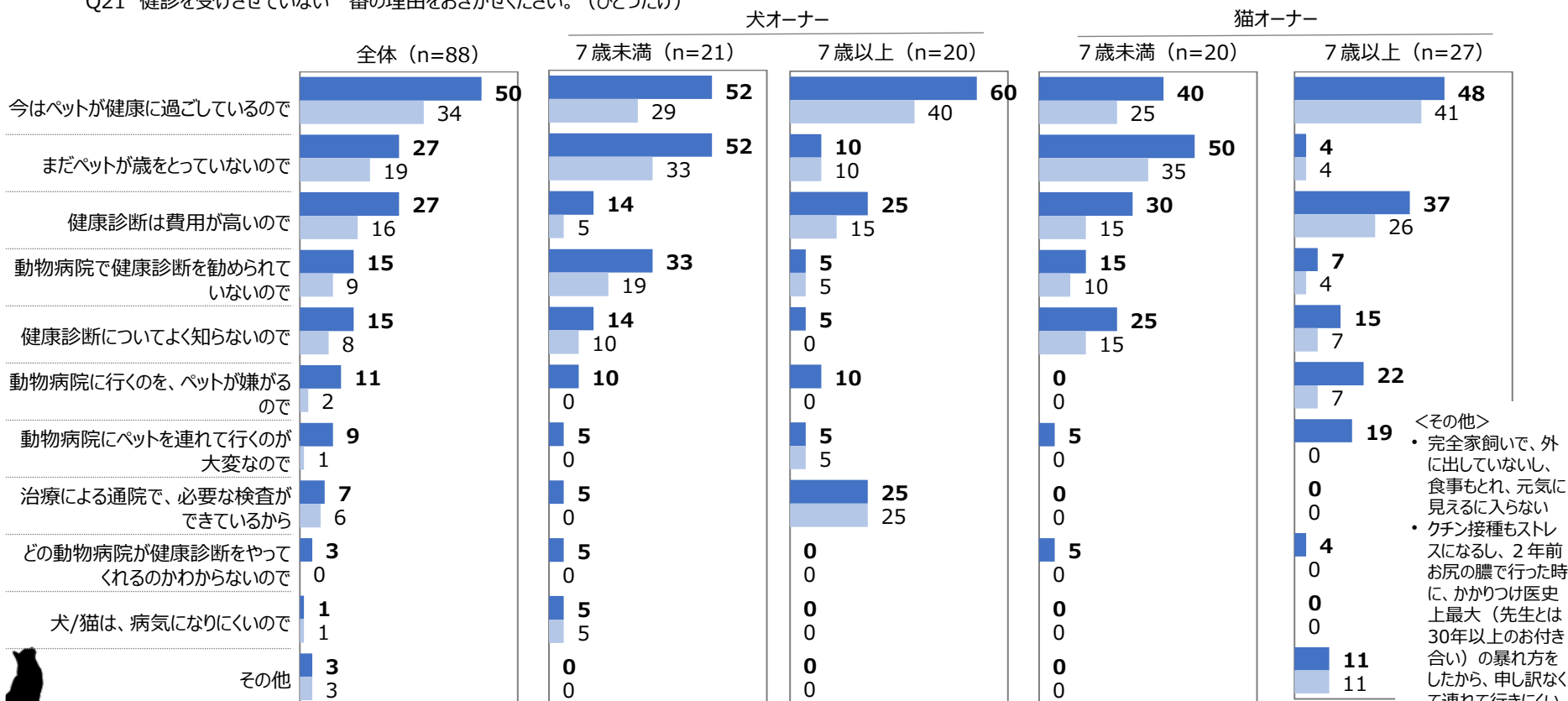
- 健康診断を受けさせていないオーナーにその理由をきいたところ、全体ではMA/SAともに「今はペットが健康に過ごしている」が最多。次いで、「まだペットが歳をとっていない」「健康診断は費用が高い」が続く。なお、「健康診断についてよく知らない」はMAで15%。
- オーナー別はn数が少ないため参考値ではあるが、「健康診断についてよく知らない」は猫7歳未満で多い。

■ 健診を受けさせていない理由 (Q20・MA/Q21・SA)

Q20 健診を受けさせていない理由をおきかせください。(いくつでも)
Q21 健診を受けさせていない一番の理由をおきかせください。(ひとつだけ)

■ 理由MA
■ 最理由SA

全体MAの割合で降順ソート
* オーナー別はn数が少ないため参考値



<その他>

- 完全家飼いで、外に出していないし、食事もとれ、元気に見えるに入らない
- クチン接種もストレスになるし、2年前お尻の膿で行った時に、かかりつけ医史上最大（先生とは30年以上のお付き合い）の暴れ方をしたから、申し訳なくて連れて行きにくい
- 離島で動物病院がない



3. ペットの健康診断について (10) 考え方



- ペットの健康診断に関しては、「お金がかかってでもペットの健康のために定期的に健診を受けさせたい」が50%で最も多く、昨年とほぼ同率。2位の「手ごろな価格なら健診を受けさせたい」は41%で、昨年より10ポイント以上増え、2021年水準に回復した。
- オーナー別でみると、犬オーナー7歳以上では「お金がかかってでも定期的に健診を受けさせたい」の割合が低い。

■当てはまる考え方 (Q22・MA)

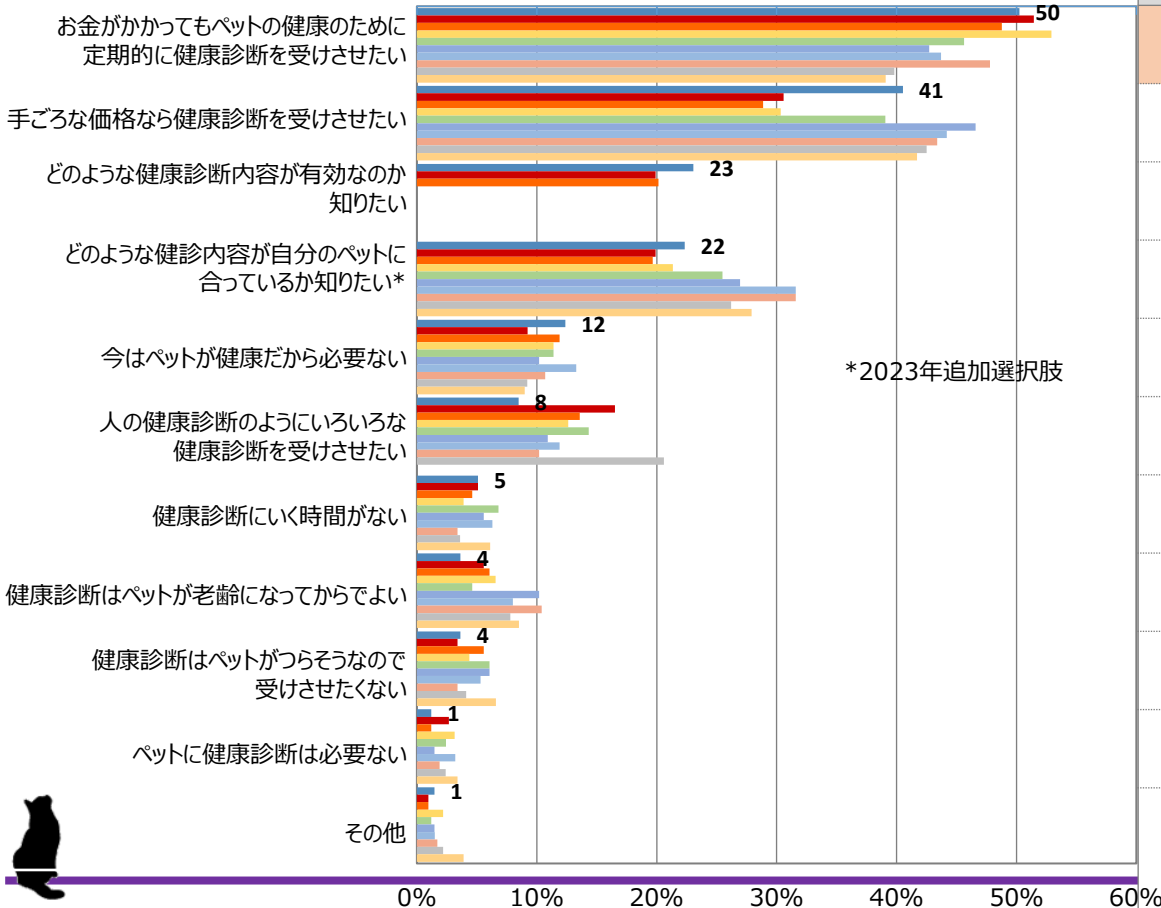
2025年全体の割合が多い順にソート

各年n=412
2025年 2024 2023 2022 2021 2020

Q22 あなたはペットの健康診断について、どのようにお考えですか。お気持ちに近いものをお選びください。

各n=103 (%)
2019 2018

1位/<> 8ポイント以上差あり



	犬オーナー 7歳未満	犬オーナー 7歳以上	猫オーナー 7歳未満	猫オーナー 7歳以上
お金がかかってでもペットの健康のために定期的に健康診断を受けさせたい	55 >	43	56 >	47
手ごろな価格なら健康診断を受けさせたい	36 <	48	39	40
どのような健康診断内容が有効なのか知りたい	29	25	18	19
どのような健診内容が自分のペットに合っているか知りたい*	27 >	16	20	26
今はペットが健康だから必要ない	16	13	13	9
人の健康診断のようにいろいろな健康診断を受けさせたい	8	10	8	9
健康診断に行く時間がない	2	6	2 <	11
健康診断はペットが老齢になってからでよい	4	6	3	2
健康診断はペットがつらそうなので受けさせたくない	4	5	1	5
ペットに健康診断は必要ない	1	0	1	3
その他	0	4	1	1

注: 0のセルは、受けている/シニア犬過ぎて既に掛かっている病気が治らない/犬の状態による/ペットの身体の負担にならない範囲内で受けさせたい (犬オーナー7歳未満) / 必要があればレントゲンやCT検査もしたが、かかりつけでやっているが分からない。また、その猫は具合が悪そうなので定期的に連れていきたいが、過呼吸を起こす猫がいるのでその猫は具合が悪そうなので連れていけない (猫オーナー7歳以上)





4. ペットの健康寿命を延ばすことについて

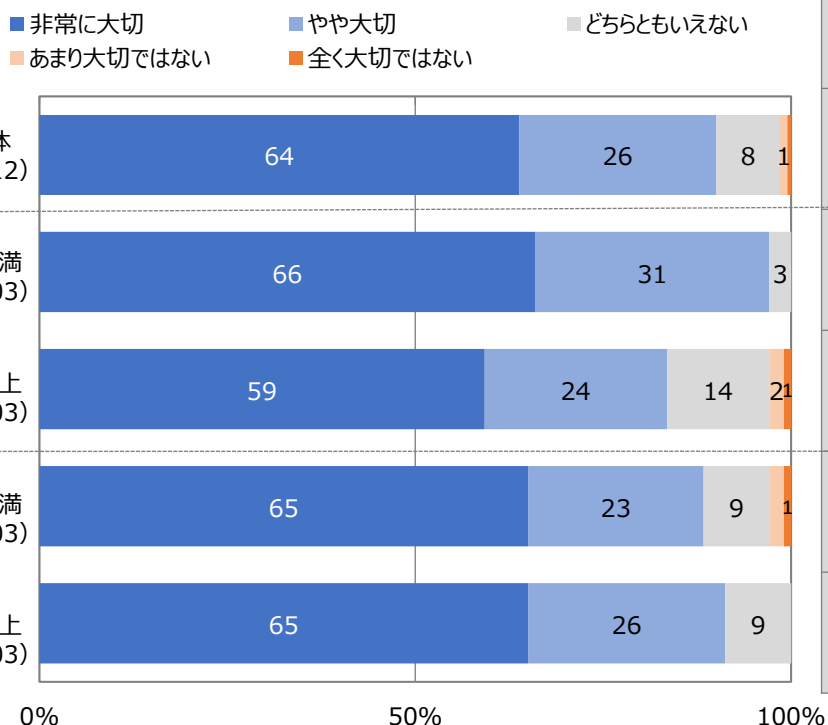
(1) 大切さ ①オーナー属性別

- ペットの健康寿命を延ばすことは「非常に大切」64%、「やや大切」26%で、合わせると9割が大切だと考えている。
- オーナー別でみると、大切計は、犬オーナー7歳未満で97%と高いのに比べ、犬7歳以上では83%と開きがある。
- 時系列で「（非常に+やや）大切」と考える割合をみると、この4年間は横ばい。オーナー別では、犬7歳未満は昨年、今年と増加しているのに対し、犬7歳以上や猫7歳未満では減少傾向。

■ ペットの健康寿命を延ばすことについての考え (Q23・SA)

Q23あなたは、一緒にお暮らしになっているペットの健康寿命を延ばすことについて、どのようにお考えですか。

<大切（非常に+やや）と思う割合>



n =	「（非常に+やや）大切」と考える割合(%)									
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
412	86	85	83	87	85	85	90	90	90	90
103	89	91	89	90	90	86	92	82	90	97
103	86	79	82	88	85	84	90	92	89	83
103	90	89	75	88	86	92	91	95	93	88
103	78	82	85	82	79	79	86	90	86	91



4. ペットの健康寿命を延ばすことについて

(1) 大切さ ②健康診断受診状況別

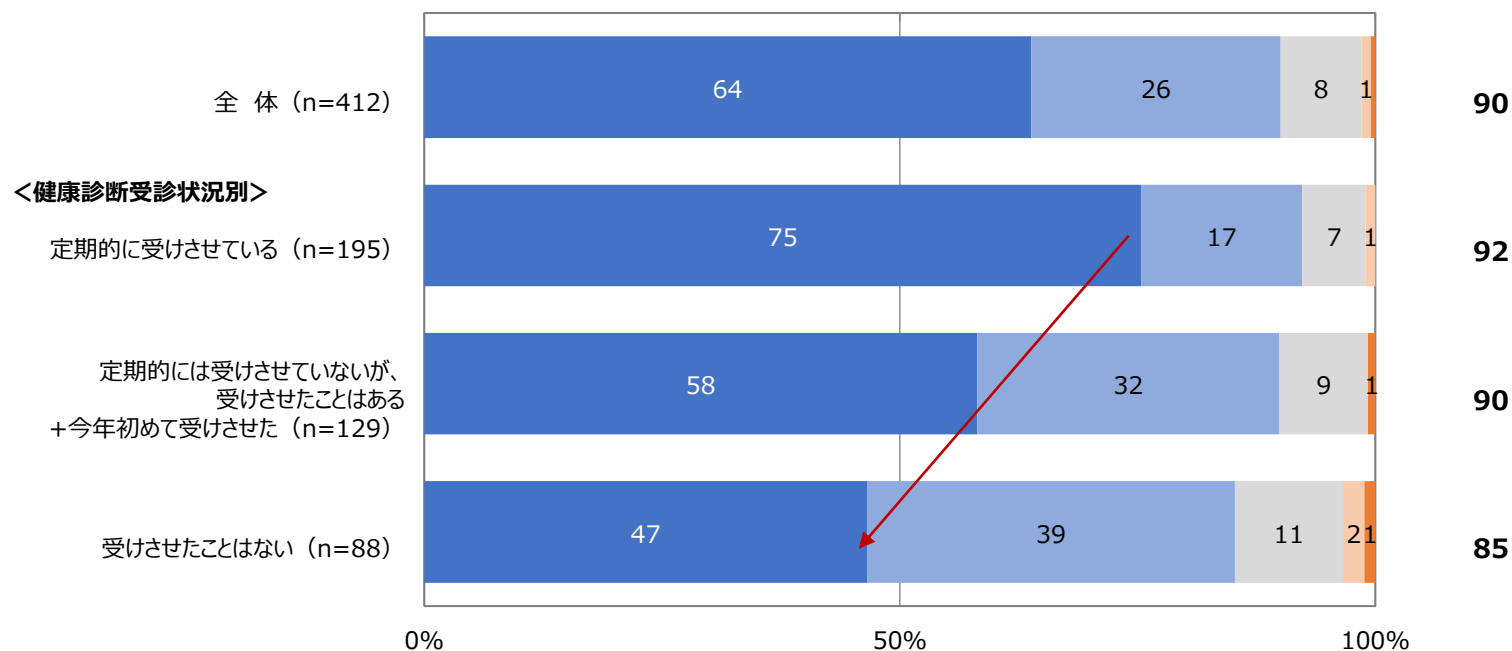
• ペットの健康寿命を延ばすことを「非常に大切」と考える割合は、健診を定期的に行っているオーナーほど多く、75%みられるのに比べ、受診経験ありでは58%、未受診では47%にとどまる。

■ ペットの健康寿命を延ばすことについての考え (Q23・SA)

Q21 あなたは、一緒にお暮らしになっているペットの健康寿命を延ばすことについて、どのようにお考えですか。

■ 非常に大切 ■ やや大切 ■ どちらともいえない ■ あまり大切ではない ■ 全く大切ではない

非常に+やや
大切 (%)





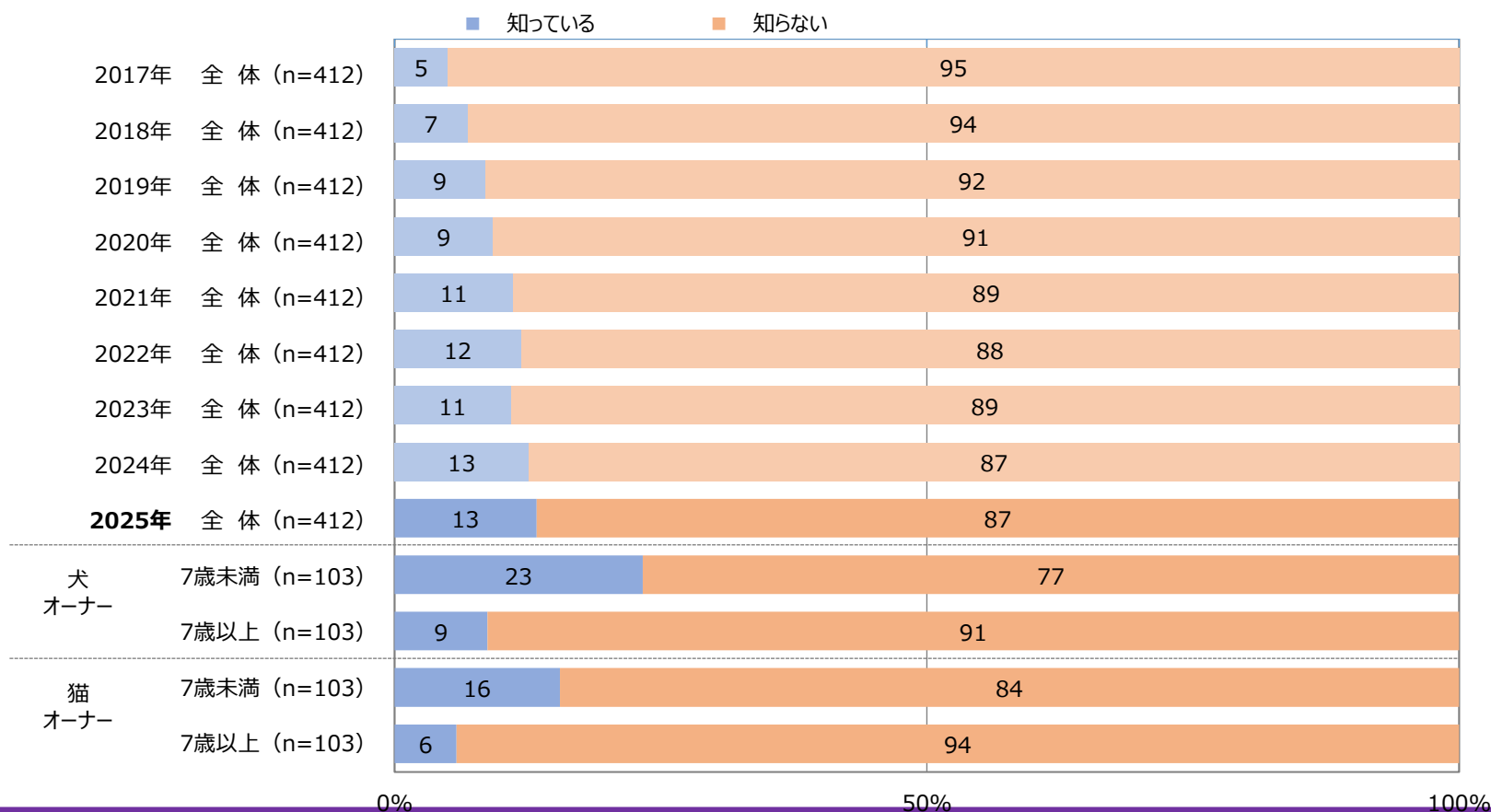
5. 「ペットの健康診断の日」について

(1) 認知状況

- 10月13日が「ペットの健康診断の日」であることを知っている人は13%で、昨年と同率。
- オーナー別でみると、犬猫ともに7歳未満のほうが認知率が高く、中でも犬7歳未満で23%と高い。

■ 10月13日が「ペットの健康診断の日」であることの認知 (Q24・SA)

Q24 「ペットの健康診断の日」についてお伺いします。あなたは10月13日（じゅういさん）が、「ペットの健康診断の日」であることを知っていますか。





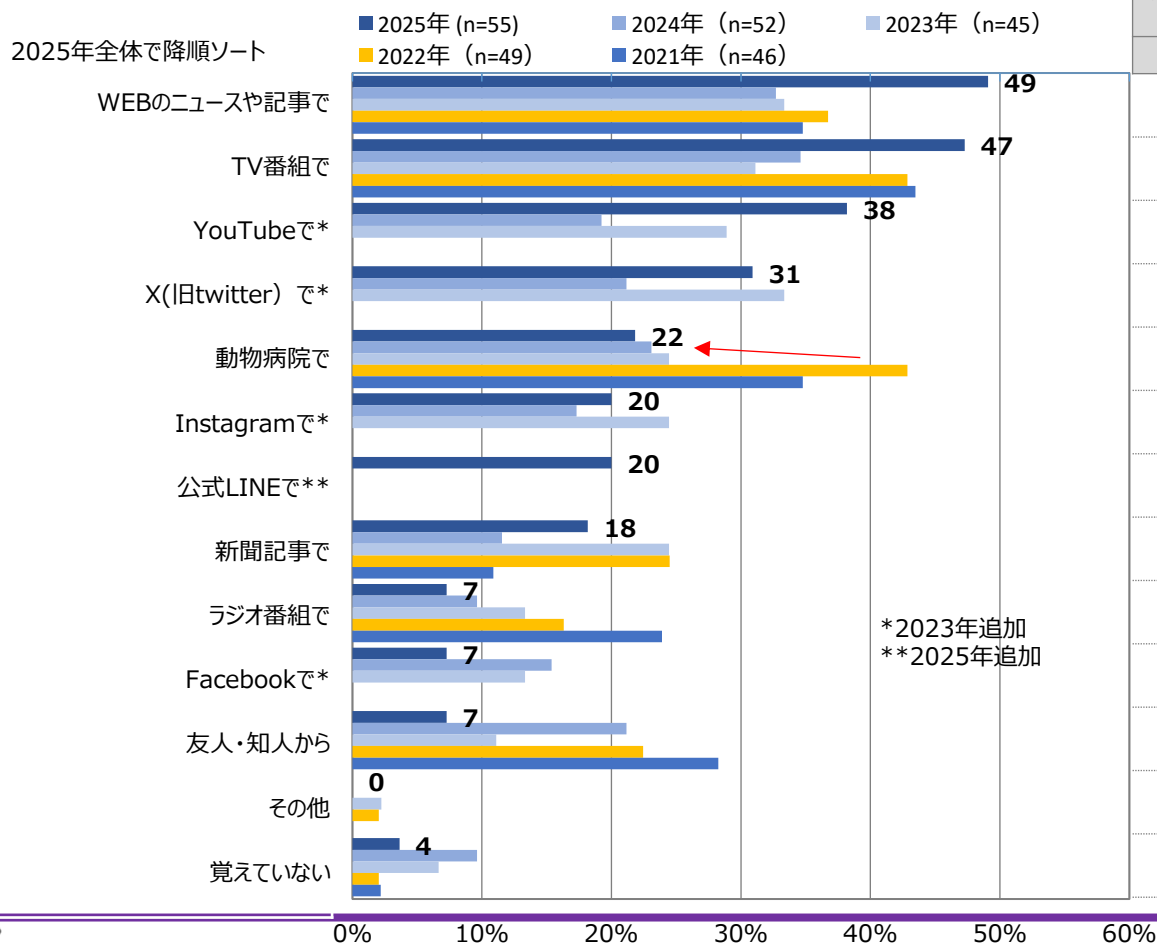
5. 「ペットの健康診断の日」について

(2) 情報源

・「ペットの健康診断の日」認知者の情報源としては、「WEBのニュースや記事」49%と「TV番組」47%がほぼ同率で、どちらも昨年から大幅に増加した。次いで、「YouTube」「X（旧twitter）」「動物病院で」が続く。Facebook以外のSNSが伸びているのに比べ、「動物病院」は年々減少傾向にある。

■「ペットの健康診断の日」の情報源（Q25・MA）

Q25 「ペットの健康診断の日」について何をご覧に（お聞きに）なりましたか。



2025年（* n数が少ないため参考値）

(%)

	犬オーナー 7歳未満 n=24	犬オーナー 7歳以上 n=9	猫オーナー 7歳未満 n=16	猫オーナー 7歳以上 n=6
WEBのニュースや記事で	58	11	50	67
TV番組で	54	44	31	67
YouTubeで*	50	22	31	33
X(旧twitter) で*	25	22	38	50
動物病院で	17	33	19	33
Instagramで*	17	22	25	17
公式LINEで**	13	22	19	50
新聞記事で	29	33	0	0
ラジオ番組で	13	11	0	0
Facebookで*	0	22	13	0
友人・知人から	8	11	6	0
その他	0	0	0	0
覚えていない	0	0	6	17



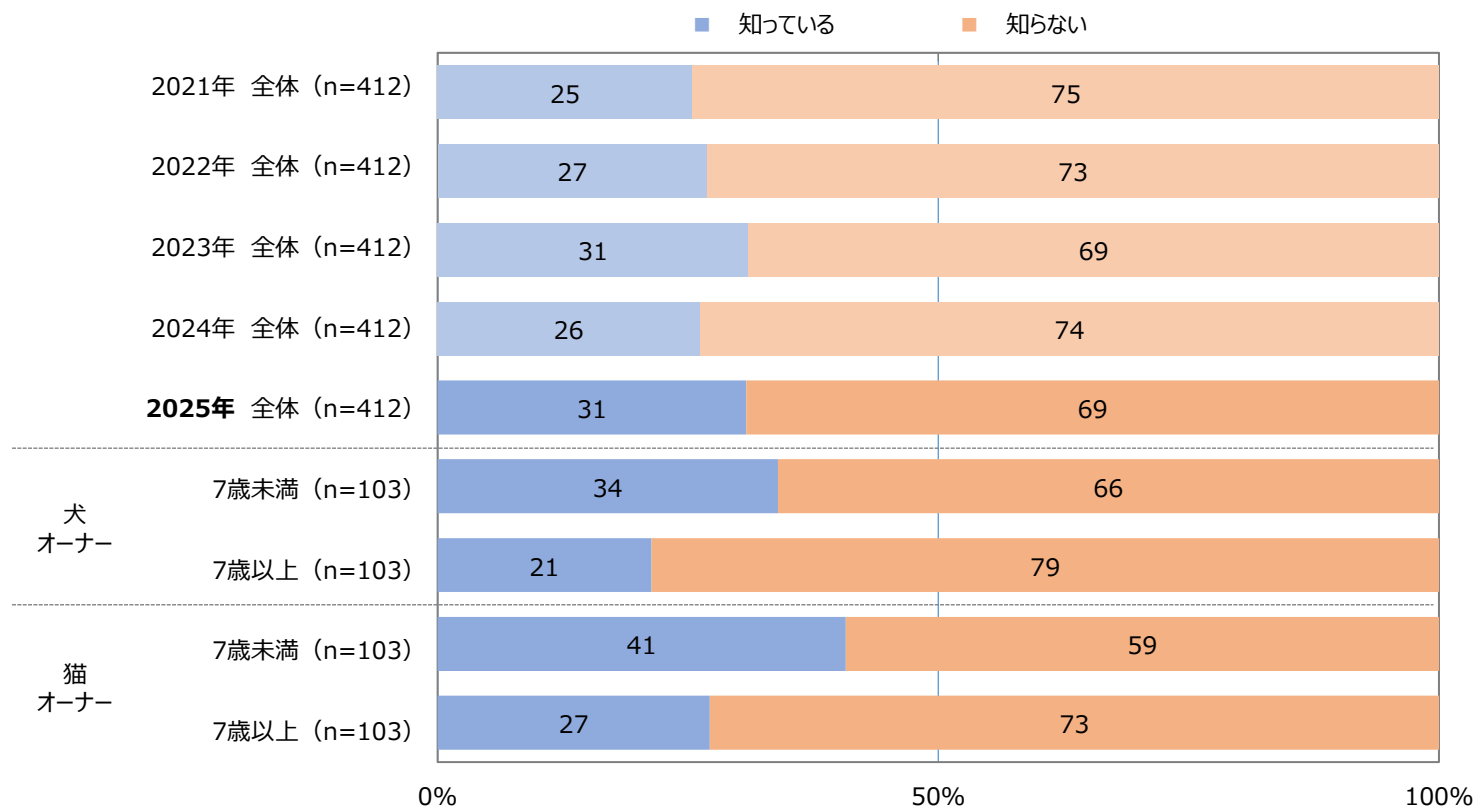


6. 「猫の健康診断の日」について (1) 認知状況

- 2月22日が「猫の健康診断の日」であることを知っている人は31%で、昨年より増加し、2023年水準に回復した。
- 犬猫オーナーとも、7歳未満オーナーのほうが認知率が高く、猫7歳未満オーナーでは41%。

■ 2月22日が「猫の健康診断の日」であることの認知 (Q26・SA)

Q26 あなたは2月22日（にゃんにゃんにゃん）が、「猫の健康診断の日」であることを知っていますか。





6. 「猫の健康診断の日」について

(2) 情報源

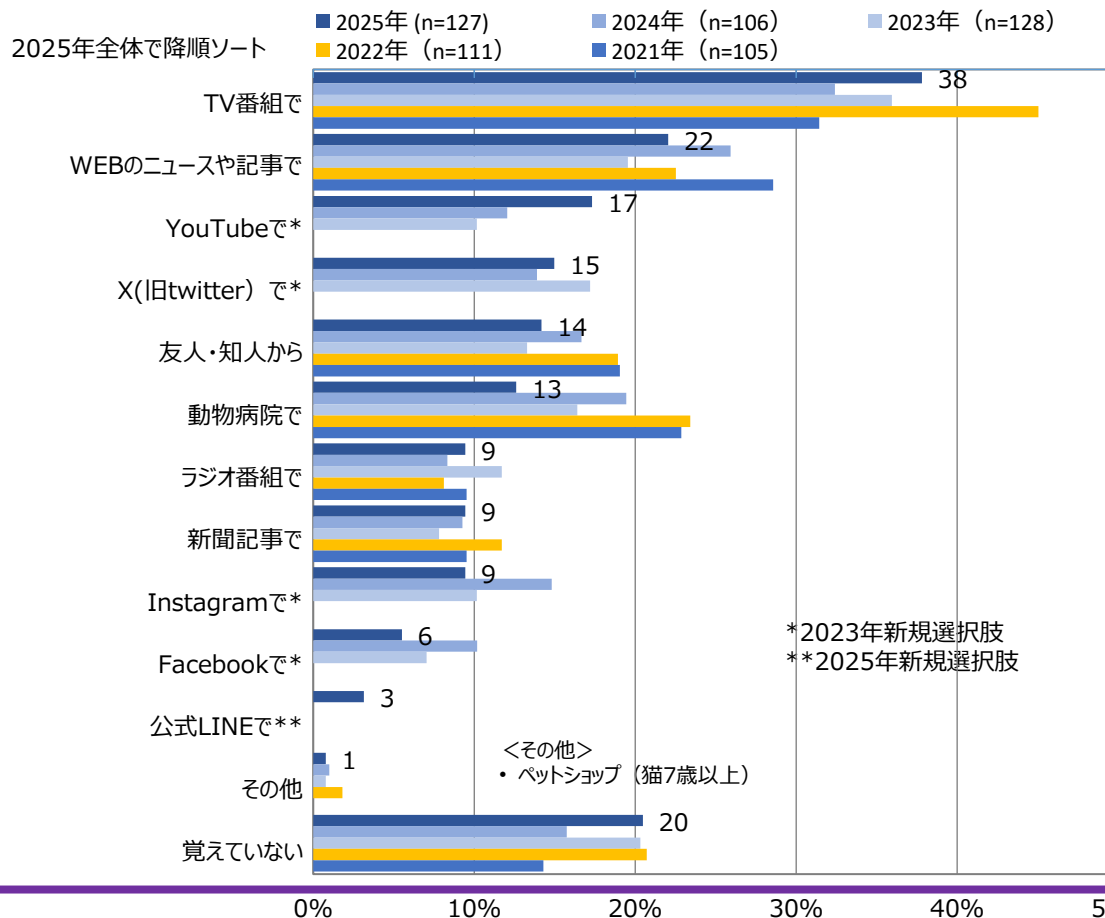
- 「猫の健康診断の日」認知者の情報源としては「TV番組」が38%と多く、昨年までの減少傾向から増加に転じた。「WEBのニュースや記事」は減少して22%。「YouTube」「X」が増えた一方、「友人・知人」「動物病院」は減った。
- オーナー別でも「TV番組」がトップ。犬オーナー7歳未満では、「WEB」「YouTube」「ラジオ番組」が全体より10ポイント以上多い。

■「猫の健康診断の日」の情報源 (Q27・MA)

Q27 「猫の健康診断の日」について何をご覧に (お聞きに) なりましたか。

(2025年)

(太字> 全体+10ポイント)



	犬オーナー 7歳未満 n=35	犬オーナー 7歳以上 n=22	猫オーナー 7歳未満 n=42	猫オーナー 7歳以上 n=28
TV番組で	40	45	38	29
WEBのニュースや記事で	34	14	26	7
YouTubeで*	29	9	17	11
X(旧Twitter) で*	17	9	19	11
友人・知人から	11	14	12	21
動物病院で	14	14	7	18
ラジオ番組で	23	9	0	7
新聞記事で	17	5	5	11
Instagramで*	11	5	12	7
Facebookで*	9	5	5	4
公式LINEで**	3	5	2	4
その他	0	5	0	0
覚えていない	3	23	24	36

(* 犬猫オーナー7歳以上はn数が少ないため参考値)



7. 「Team HOPE」について

(1) ロゴマーク認知



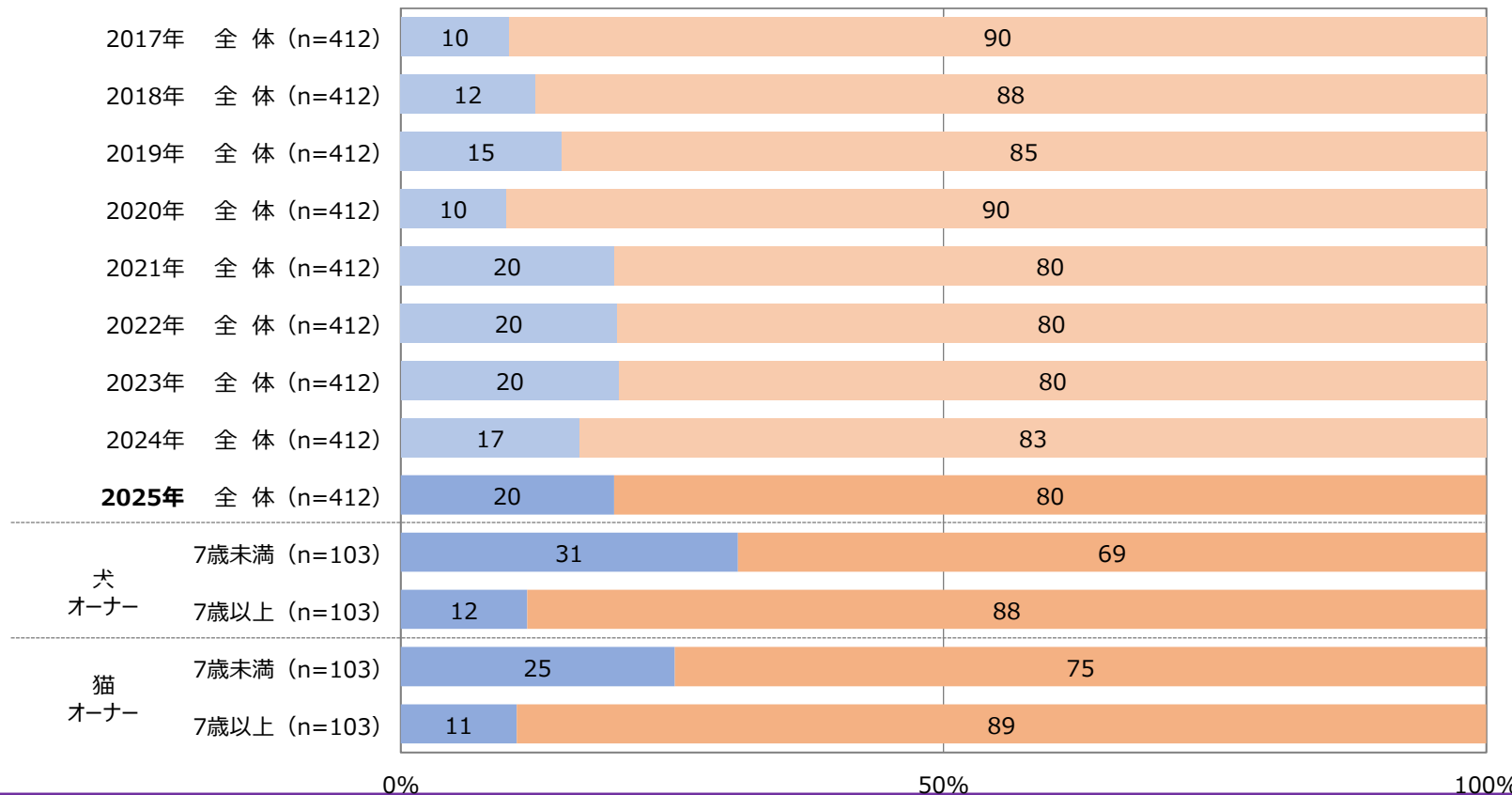
- Team Hopeのロゴマークを「見たことがある」は20%で、昨年より増え、2021年～2023年の水準に戻った。
- オーナー別でみると、犬猫ともに7歳未満での認知率が高く、犬7歳未満では31%と3割を超える。

■ ロゴマークの認知 (Q31・SA)

Q31 あなたはこのロゴマークを見たことがありますか？



■ 見たことがある ■ 見たことはない



7. 「Team HOPE」について

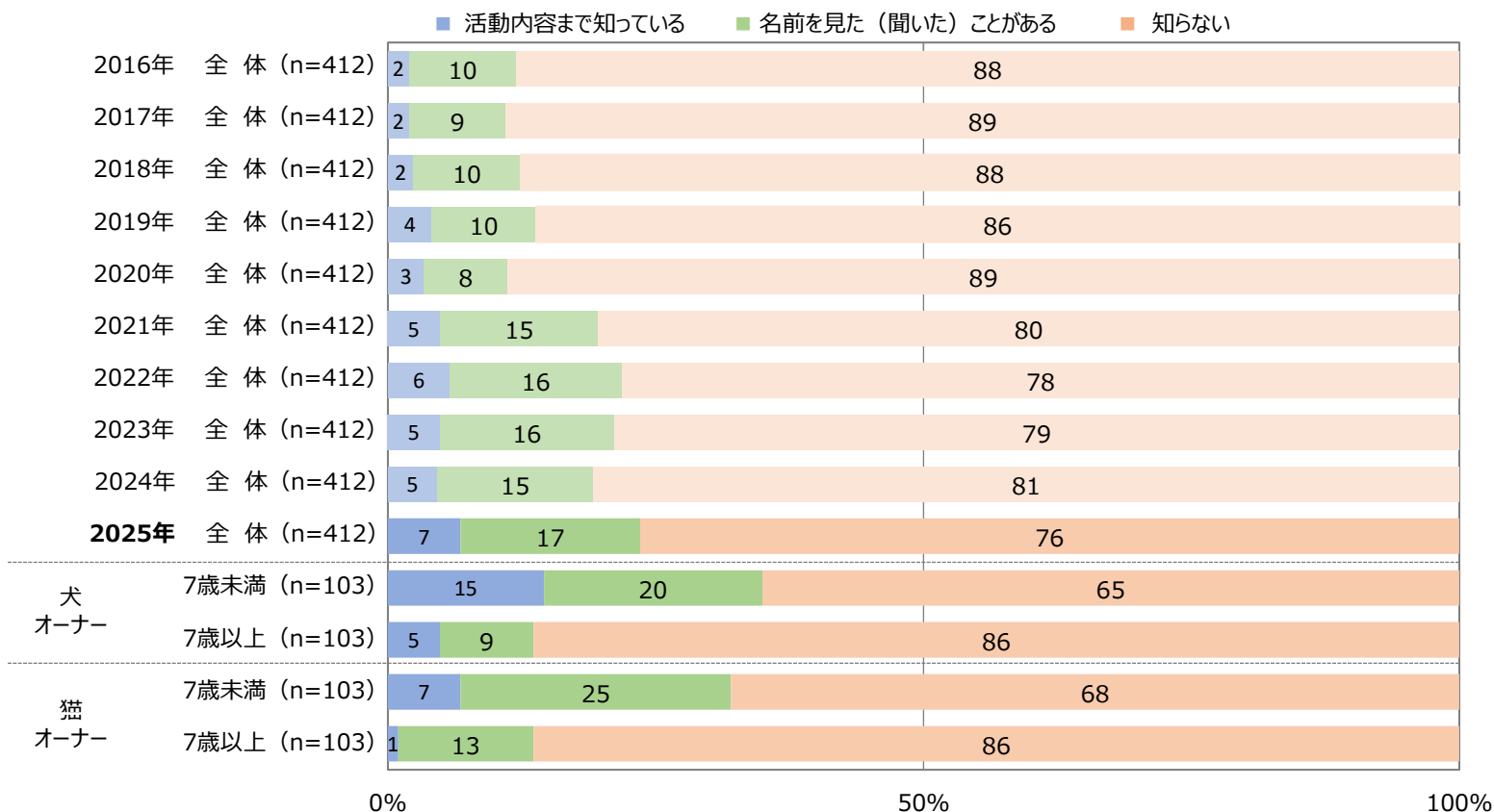
(2) 団体認知



- 「Team HOPE」について、「活動内容まで知っている」は7%、「名前を見た（聞いた）ことがある」は17%。合わせると認知率は24%。
- 時系列でみると、認知率は昨年までの3年間微減傾向にあったが、今年は増加に転じた。
- オーナー別でみると、犬猫ともに7歳未満のほうが認知率が高く、犬7歳未満オーナーでは、「活動内容まで知っている」が15%みられる。

■ペットの健康寿命を延ばす活動をしている、獣医師の団体「Team HOPE（チームホープ）」の認知（Q32・SA）

Q32 あなたは、ペットの健康寿命を延ばす活動をしている、獣医師の団体「Team HOPE（チームホープ）」を知っていますか。





自由回答まとめ

Q5まとめ 「健康」だと思ふ理由

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない
Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などはカウントせず



- 「健康」だと思ふ理由としては、「元気/元気に走っている、遊んでいる、散歩している/動きが活発」が圧倒的に多く82件。次いで「気になるところがない/不調がない」「よく食べよく動く」「健診結果に問題がない」もそれぞれ40件以上。
- 健康の指針として、運動（走る、散歩、遊ぶなど）、食欲、排せつが多くあがっている。

	全体	犬7歳未満			犬7歳以上			猫7歳未満			猫7歳以上		
	Q7→	1	2	3	1	2	3	1	2+3	3	1	2	3
表中の数字は件数 n=	312	52	18	18	32	14	12	43	30	19	26	29	19
元気/元気に走っている、遊んでいる、散歩している/動きが活発	82	23	3	7	11	4	5	6	7	2	5	7	2
気になるところがない/問題ない/不調の様子がない/日々安定して過ごしている	49	7	2		3	2	2	5	4	5	7	8	4
食事も運動も問題ない/よく食べよく動く、遊ぶ/よく食べて活発	43	2	6	3	4	2	3	5	6	3	1	6	2
定期的な検査で問題がない/健診の結果が良好/獣医に健康と言われた	42	7	1	1	7			14	3	1	8		
病気をしたことがない/風邪をひかない/大きな病気やケガをしていない	29	4	2	3	3	2	1	4	2	1	5	1	1
元気にご飯を食べてる/ご飯をよく食べる/食欲旺盛	25	7	3		1			2	4	1		4	3
食欲もあり排泄もしっかりしている/食欲も排泄も問題ない	17					1		3	1	3	1	1	7
病気がない/持病がない/健康	16	7		2	1	2	1	1		1			1
食欲があり、便通もよく、散歩もする/よく食べ、よく排泄し、走り回っている	10	1	1		2	1		2	2			1	
毛艶が良い/毛並みが良い/皮膚の状態がよい	7	1					1	1	3			1	
若いから	7	1		1				1	3	1			
よく食べよく眠る	5							1		2	2		
標準体重/体型スリム	4	1						1		1			1
食事や運動などに気を付けている	2								1			1	
よく遊びよく眠る	2	2											
排泄に問題がない	2	1										1	
運動量が確保されている/散歩でよく歩く	2	1		1									
機嫌が良い	1							1					
よく食べよく眠りよく運動する	1							1					
何となく	1							1					



Q5まとめ 「どちらともいえない」と 思う理由

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない

Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などはカウントせず



・「どちらともいえない」理由としては、「疾患・アレルギー・持病がある/疾患はあるが普通に生活できている」「高齢/高齢で不調が出ている」などが主。

	全体	犬7歳未満			犬7歳以上			猫7歳未満			猫7歳以上		
Q7→	1	2	4	1	2	4	1	2	4	1	2	4	
表中の数字は件数 n=	68	5	4	3	11	11	5	4	3	0	6	9	7
疾患・アレルギー・持病がある/疾患はあるが普通に生活できている	17	2	1	2	5		2		2		1	2	
高齢/高齢で不調が出ている	15				2	5	1	1			1	2	3
病気治療中/病気で通院中/病気投薬中	4				2							1	1
脚の不調/足腰が弱った	3	1			1	1							
以前病気をした	3				1							1	1
下痢をする/軟便	3			1	1							1	
食欲がなくなった/食欲がなくなることがある	3		2			1							
風邪をひきやすい/体調を崩しやすい	2							2					
歯が抜けている/口臭	2						1						1
よく嘔吐する	2										1	1	
尿路が弱い/排尿で気になることがある	2											1	1
元気で食欲がある	1	1											
ここ1年は病院に行っていない	1												1
目が見えづらい	1					1							
肥満	1												1
病気がケガが多い	1										1		
体力が落ちてきた	1						1						
元々体が弱い	1	1											
いつ何があるかわからない	1				1								
特に良くも悪くもない	1								1				
定期的な健康診断をしていない	1											1	
何となく	1					1							



Q5まとめ 「健康とは思っていない」理由

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない

Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などはカウントせず



- ・「健康とは思っていない」理由上位は、「疾患/持病/障害がある」。

	全体	犬7歳未満			犬7歳以上			猫7歳未満			猫7歳以上		
Q7→	1	2	4	1	2	4	1	2	4	1	2	4	
表中の数字は件数 n=	32	3	0	0	10	5	3	1	2	1	2	4	1
疾患がある/持病がある/障害がある	13				3	2	1	4			2	1	
病気治療中/病気で通院中/病気投薬中	6	3			1	1	1						
白内障/緑内障/目が見えにくい	5				1	3	1						
高齢/高齢であちこち不調が出ている	4				2	2							
脚腰が弱っている/走れない	3				2		1						
肥満気味	2				1								1
歯が悪い	2				1	1							
食欲が落ちた	2				1								1
咳が出る/咳が止まらない	2				1			1					
痩せてきた	1												1
排尿がスムーズにいかない	1												1
よく吐く	1												1



Q17まとめ 「健康診断を受けてよかった」 経験

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている
2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた
4.受けさせたことはない

Q17「健康診断を受けてよかった」と思った経験がありましたら、詳しくお聞かせください。

※「特にない」「ない」などはカウントせず



- 「安心できる」が最多で111件にのぼる。オーナー属性に関わらず多い。
- 2位は、「健康だとわかる/健康状態を確認できる/数値がわかる」で43件。オーナー別では猫7歳以上で多め。
- 3位は「病気・異常の早期発見、早期治療につながる」が29件あがっており、犬猫とも定期的受診者が多い。

表中の数字は件数 n=

	全体	犬7歳未満		犬7歳以上		猫7歳未満		猫7歳以上	
	Q7→	1	2	1	2	1	2+3	1	2
安心できる/異常・病気がないとわかり安心できる/細かいところまで検査してもらえて安心/不安解消	111	21	12	12	5	22	13	10	16
健康だとわかる/健康状態を確認できる/数値がわかる	43	6	4	7	1	3	3	7	12
病気・異常の早期発見、早期治療につながる/早期発見できた/早期発見し対応できた	29	8	2	10		4	1	3	1
病気・異常が見つかった/病気がわかり、治療してもらえた	22	4	1	5	5	1	4	2	
気を付けることがわかった/食事や運動の気づかいはできる	14	2		4	2	2	1	2	1
指導、アドバイスを受けられる/細かいことまでアドバイスをもらえる	8	2			1	3	1	1	
長生きしている/元気になった	7			2		1	1	2	1
気になることを相談できる	6	1				3	1	1	
わかりやすかった/丁寧に報告してもらえる/検査結果が数値化されてわかりやすい	5	1		2	2				
病気予防ができる/今後の傾向が予想できる	4					2	1		1
定期的に健康管理できる	2	2							
健康面に配慮しないといけないと思うようになった	2	1		1					
トリミングの時にやってくれる/避妊手術のついでに受けられた	2	1					1		
病名がわかり、自分でネットで調べて対処法がわかる	1				1				
自分に合っている	1	1							
獣医とのコミュニケーションに役立つ	1	1							
猫が先生を好き	1					1			





自由回答集

自由回答集

Q5(1/8)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない

Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q4	Q7	Q5FA
1	1	1	気になるところがないため
1	1	1	今1歳11か月だが、順調に体重も増えてきて、体毛の艶もよく、元気よく走ることができる。表情もいきいきしている。
1	1	1	特に持病はなく、変わらず食欲もあり散歩も元気に行けるので
1	1	1	病気にしてない
1	1	1	特に大きな病気はしていない
1	1	1	元気にドッグスポーツをしている
1	1	1	元気
1	1	1	毎日散歩に行くと大病もなく元気そのもの
1	1	1	いつも元気に動いている
1	1	1	健康だから
1	1	1	病気もないから
1	1	1	毎日愛情をもちながら、大切に育てています。あくまでも動物かもしれませんが、実際に言葉に表すならば、家族だと言ってもいいほどのです。ご飯をきちんと美味しく食べてくれている姿を見ると、とても安心できます。栄養バランスや、健康面に対しても、気を付けています。
1	1	1	食欲も旺盛で良く動き回っている
1	1	1	いつも元気だし健康診断もバッチリです
1	1	1	今のところ元気だから
1	1	1	特に毎日問題なく元気。ワクチン接種で病院にも通院してるが何も言われない。
1	1	1	元気だから
1	1	1	元気そうだから
1	1	1	元気
1	1	1	毎年の健康診断で今のところ問題なし
1	1	1	食欲旺盛で元気一杯走り回っている
1	1	1	特に変わりはないので
1	1	1	特に何の支障もないから
1	1	1	通院が必要な病気やけがはないから
1	1	1	血液検査をしていて問題ない為
1	1	1	定期的な健康診断を受けているので

CELL	Q4	Q7	Q5FA
1	1	1	食欲旺盛で元気に走り回って便もしっかりしているから
1	1	1	特に目立った体調の異常は感じていない為である。
1	1	1	騒がしい
1	1	1	健康診断の結果が良好だったから
1	1	1	健康診断で異常なし
1	1	1	今のところ健康的な状態だから
1	1	1	元気いっぱいだから。
1	1	1	病気がけがないから
1	1	1	ずっと元気だから
1	1	1	いつも元気
1	1	1	よく食べる
1	1	1	良く食べて、元気に走り回ってます
1	1	1	いつも元気だから
1	1	1	特に病気もないですし食欲もあって元気なので。
1	1	1	元気そう
1	1	1	元気に遊び回ってるから
1	1	1	いつも活発に動き回っているから
1	1	1	標準体重であること、食欲が旺盛なこと、運動量が確保されているという観点から健康体であると思う
1	1	1	食欲旺盛で、よく遊びよく寝ています。便や尿をした際に、チェックをするのですが、異常は見当たらないので健康そのものかと思っています。
1	1	1	毎年の健康診断をしていることと一度目の異常がでた時にMRIをとったので
1	1	1	毎日元気に走り回っているから
1	1	1	まだ、2才だから
1	1	1	異常がない
1	1	1	大きな病気になることも無く、無駄吠え等の問題行動もせず、よく遊びよく眠り食欲旺盛である。



自由回答集

Q5(2/8)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない

Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q4	Q7	Q5FA
1	1	2	食欲があり散歩も好んでいく
1	1	2	食事を残すことなく食べて体重も減っていない。
1	1	2	良く食べ良く動き楽しそうだから
1	1	2	飛び回っているし、ご飯をよく食べる快便だから
1	1	2	食欲旺盛でよく動いているから
1	1	2	げんきで食欲もあるから
1	1	2	元気
1	1	2	病気やケガがないから
1	1	2	特に目立った症状が無いから
1	1	2	特に体調が悪そうなそぶりが無いので
1	1	2	アレルギーはありますが、毎日良く食べて良く遊んでいます。1年に1回血液検査もするので。
1	1	2	元気
1	1	2	よくご飯を食べて遊んでいるから
1	1	2	食欲旺盛なので。
1	1	2	良く食べて、良く動くから
1	1	2	元気だから
1	1	2	特に病気もすることなく、10年以上生きているため
1	1	4	元気だから
1	1	4	食欲もあり、活発に動いているから。
1	1	4	特に病気にしていないから
1	1	4	元気
1	1	4	元気だから
1	1	4	元気だから
1	1	4	獣医さんから健康です、と言われたから。
1	1	4	食欲も元気もあるから。
1	1	4	健康
1	1	4	何不自由なく走り回ってるから
1	1	4	よく遊ぶ

CELL	Q4	Q7	Q5FA
1	1	4	病院に行くことが少ない、毎日の散歩で良く歩く
1	1	4	風邪ひかない
1	1	4	よく食べよく遊び、元気に走り回っているから
1	1	4	元気だから
1	1	4	異常はないから
1	1	4	まだ1歳だから
1	2	1	免疫不全のため
1	2	1	元気があって食欲があるから
1	2	1	アレルギーがあるから。
1	2	1	生まれつきあまり身体が強くないから
1	2	1	足が悪い
1	2	2	ときどき食欲がなくなる
1	2	2	前にくらべて、食欲がない。
1	2	2	アレルギーがあり、時々外耳炎になるから
1	2	4	胃腸が弱くよく下痢になる
1	2	4	お腹に袋があると言われている。(おしっこがその袋に溜まってしまう。でも命に関わるものではないので、たまに注射器でおしっこを吸い出してもらおう)前足がよく垂脱臼してるらしい。痛くはないらしい。癖になってるとのこと。
1	2	4	てんかんもち
1	3	1	アトピー性皮膚炎とてんかんで定期的に受診・投薬をしている
1	3	1	生まれつき障害があるため
1	3	1	生まれつきのアトピー体質なので、マラセチア皮膚炎の再発を防ぐ必要があるから 月1回の病院通い。
2	1	1	散歩も元気に行動できる
2	1	1	食欲もあるし、散歩等も毎日変わり無く出来ている。
2	1	1	一年に一度の血液検査の結果を見て
2	1	1	元気でいつも通りの生活をしている
2	1	1	特に病気にしないので
2	1	1	なんの問題もないので
2	1	1	食事もよく食べるし、便通も問題なく、外出も大好きです。



自由回答集

Q5(3/8)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない

Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q4	Q7	Q5FA
2	1	1	犬はいたって元気そのものだし、老猫はそこそこ食欲があって静かに過ごしている。
2	1	1	元気で食欲もあるし、便もキレイで問題ない。
2	1	1	動物病院で検診したから。
2	1	1	元気
2	1	1	特に異常なく生活できている
2	1	1	元気
2	1	1	病院での定期検査でも数値が良好
2	1	1	大きな病気がないから
2	1	1	健診結果が良かったので
2	1	1	よく食べる。よく吠える。
2	1	1	普通の生活での状態は元気そうで、健康診断等でも獣医師から問題は特にないというフィードバックをもらっているから。
2	1	1	全く何も問題なく過ごしている
2	1	1	元気
2	1	1	定期的に動物病院に連れて行って診察してもらっていて、異常は無いから。
2	1	1	まだ大きな病気はしてない
2	1	1	定期的に健康診断をしているから
2	1	1	病気がないから
2	1	1	食欲がありいつも元気
2	1	1	毎日元気の散歩する
2	1	1	元気だから
2	1	1	はしゃぎ回る
2	1	1	元気に遊んでいるし、食事にも気をつけているから
2	1	1	ご飯大好き、散歩大好き
2	1	1	9歳だが、今でも散歩に出て走り回っている。
2	1	2	食欲も便通も良く、散歩中は元気いっぱい。
2	1	2	病院へは爪切りと肛門腺絞りだけ
2	1	2	12歳だけど元気に動いているし、食事もあるから
2	1	2	食欲も有り、排便も正常な弁で、日々の生活に病的な様子も見受けられない

CELL	Q4	Q7	Q5FA
2	1	2	食欲旺盛で毛艶もよく、元気が良いから。
2	1	2	めったに病院に行かないで元気である
2	1	2	元気である
2	1	2	病気をあまりしてい
2	1	2	特に不調な様子がない
2	1	2	元気なので。
2	1	2	そのように飼育してる
2	1	2	問題なく動いているので
2	1	2	元気だから
2	1	4	食欲もあるし、散歩にも行くので
2	1	4	健康第一
2	1	4	14歳ですが、元気です
2	1	4	元気で飛び回っている
2	1	4	特に不調はない
2	1	4	7歳まで去勢とパテラ以外に大病なし
2	1	4	特に問題がないから
2	1	4	元気なので
2	1	4	どれだけ走り回っても疲れないし、毛並みが若く12歳なのによく子供と間違えられるので、顔つきもかなり若い
2	1	4	元気だから
2	1	4	まだまだ元気で食欲もあるし健康
2	1	4	散歩もするし、ごはんも食べるから。
2	2	1	腫瘍
2	2	1	心臓が少し悪い
2	2	1	肝臓が悪く、薬を飲んでいる。
2	2	1	結石で手術している。皮膚疾患がある。
2	2	1	年齢を重ねて不調に見えることが増えてきたから
2	2	1	皮膚のただれや軟便
2	2	1	今年の中頃ぐらいから病気をし動物病院に通っていた



自由回答集

Q5(4/8)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない

Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q4	Q7	Q5FA
2	2	1	心疾患を患っているため健康とは言えないが、日常生活は問題なく送れているため、健康でないとも言えないから
2	2	1	足腰が弱った気がする
2	2	1	いつ何があるかわからないから
2	2	1	もう歳だから
2	2	2	なんとなく
2	2	2	目が見え難くなっている。白内障かも。
2	2	2	10歳を超えたので、いろんなことに気を付けていかなければならないと思う
2	2	2	14歳の高年齢犬 8・3・0生まれ 足腰弱り、白内障あり 33キロ肥満もあり
2	2	2	年齢的なものか、お腹がキュッと鳴ってご飯を食べないことがある
2	2	2	加齢によるもの
2	2	2	高齢になってきたので持病はないが体力がなくなってきている
2	2	2	足が弱ってるから
2	2	2	高齢なので。
2	2	2	年寄りだから
2	2	4	高年齢で介護状態にあるので
2	2	4	高齢の為
2	2	4	アトピー体質
2	2	4	関節が弱いから。
2	2	4	上の歯がかなり抜けている
2	3	1	心臓と腎臓がよくない
2	3	1	持病がある
2	3	1	現在治療中なので
2	3	1	食欲があまりなくて足腰も弱ってきたから
2	3	1	15歳の高齢犬で腎臓、肝臓の血液検査の数値が悪い
2	3	1	春に白内障を発病、また肥満気味
2	3	1	13歳の大型犬
2	3	1	セキが出る
2	3	1	19歳になろうとしているのであちらこちらが弱っています。目、鼻、耳全てが機能していない

CELL	Q4	Q7	Q5FA
2	3	1	足が悪く普通に走ることができない 歯が悪い
2	3	2	かなりのシニア犬で、耳が聞こえにくく、目が白内障になっており、歯が何本か 抜け落ちていたから。
2	3	2	高齢で目が見えにくくなっているから
2	3	2	心臓に弁に問題ある
2	3	2	去年から病院に通ってる
2	3	2	両眼が緑内障と乾性角膜炎で失明している、腎臓が中程度悪い。膀胱に石が有る。
2	3	4	足腰が弱っている。緑内障。他
2	3	4	頬にコブがある
2	3	4	薬を毎日飲んでるから。
3	1	1	年に一回、病院で診てもらっている。食欲も排尿、排便も正常で元気だから
3	1	1	元気に遊んでいる
3	1	1	元気
3	1	1	生活にリズムがあり、体重も申し分ないので
3	1	1	健康診断をしたから
3	1	1	定期的に検診を行っており食事や排泄もほぼ正常なので
3	1	1	元気に駆け回っている
3	1	1	2週間前の健康診断で異常なしといわれた
3	1	1	良く食べるところ
3	1	1	よく食べ、よく寝るかは
3	1	1	運動障害なし
3	1	1	なんとなく
3	1	1	今のところ特に問題はないからです。
3	1	1	吐き戻しもなく、毎日元気にご飯を食べる
3	1	1	年一回健康診断を実施。血液検査でどの項目も異常がなかったから。
3	1	1	定期健診で健康だと診断されているから
3	1	1	定期検査をしている
3	1	1	まだ2歳で数か月ごとの定期健診でも問題ないと言われているから。
3	1	1	定期的に動物病院で見てもらって健康だと先生に云われたので



自由回答集

Q5(5/8)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない

Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q4	Q7	Q5FA
3	1	1	元気そうにしている
3	1	1	よく食べるしよく寝るしよく運動するし開かないしいつもニコニコしているから
3	1	1	健康なウチ 毛並みも良い エサも良く食べる いつも元気
3	1	1	定期的に病院に通っている
3	1	1	まだ1年も経ってない
3	1	1	定期的に病院に行っていて問題はないから。
3	1	1	特に病気になってない
3	1	1	ご飯も良く食べてお散歩など運動も出来ている。
3	1	1	愛猫自らの不安な健康不安な行動は見当たらず、また年2回の定期通院による健康診断結果からも異状は見受けられないから
3	1	1	食欲旺盛でいつも元気がいい
3	1	1	特にこれまで大きな病気もなく、食事や排せつもしっかりあるため
3	1	1	問題ないから
3	1	1	元気に体調も良く、毎日活発に過ごしているから。
3	1	1	健康診断を受けているから
3	1	1	毎日1回はお通じがあり、良く食べて遊ぶから
3	1	1	特にないから
3	1	1	今の所大きな病気はしていない 毎日よく食べてよく動いている
3	1	1	食事量も丁度良く程よく運動させているから。
3	1	1	定期的に病院に行っているから。
3	1	1	とくに病気はないから
3	1	1	いつも元気だから
3	1	1	食事もよく食べ、遊ぶことが好きで運動をしっかりしている
3	1	1	病気したことない
3	1	2	1歳と若くて元気
3	1	2	ご飯もよく食べて、よく動いて、毎日排便があるから。
3	1	2	普段から元気に家の中を走り回る姿を見かけるので
3	1	2	食欲旺盛だから
3	1	2	元気だから

CELL	Q4	Q7	Q5FA
3	1	2	毛並みが良く、筋肉の張りも良い。個体の大きさも大きいので。
3	1	2	いつも元気だから
3	1	2	元気すぎる
3	1	2	元気にしているから
3	1	2	食欲もありよく遊ぶから
3	1	2	食欲もあるしお水もちゃんと飲む。おしっこや便も健康的。活動的。毛玉を吐くこともなく、これまで毛玉ではない嘔吐が1度だけあった程度。体調不安で病院に行ったのは、その1度だけなので。
3	1	2	たくさんご飯を食べる
3	1	2	食欲があり元気に走り回っているから
3	1	2	毎日走り回るし、よく食べ、健康診断もしたが異常はなかったから。
3	1	2	ご飯を食べよく遊んでいるから
3	1	2	良く食べて元気だから
3	1	2	特に、症状がない。
3	1	2	元気だし今の所は大きな病気になったことがないから
3	1	2	活発に活動しているように見える
3	1	2	まだ若いし病院にも行っている
3	1	2	以前は尿路系の疑いがあったが、検査で改善されているとでたから。
3	1	2	病気になった事がないから
3	1	2	まだ若く大きな体の異常もないため。
3	1	2	いつも通り元気にごはんもたくさんたべるから
3	1	2	症状がない
3	1	2	不調を何も感じないので
3	1	2	いつもご飯を食べて遊びまわっているから
3	1	2	水分量や排泄、フードもウェットとドライを両方与えており添加物や原産国にも気を配っている為。
3	1	3	食欲も毛艶もよく、病院でも特に何も言われていないので
3	1	3	食欲もあり、まだ生後6ヶ月のため、病気もなさそう。毛艶もよく、便も問題なさそうな形状である。ワクチン接種も済んでいる。
3	1	4	異常がなく元気だから



自由回答集

Q5(6/8)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない

Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q4	Q7	Q5FA
3	1	4	普通に暮らしている
3	1	4	特に、変化を感じられないので。
3	1	4	問題なし
3	1	4	食欲もあり、便秘や下痢もしないから
3	1	4	元気だから
3	1	4	よく食べよく寝るから
3	1	4	病院に連れていかないから
3	1	4	0歳で食欲旺盛
3	1	4	食欲や行動に特に気にかかる事が無い
3	1	4	元気に動いて、食事する。
3	1	4	特に調子が悪そうに見えないから
3	1	4	ご飯もモリモリ食べてトイレも行く
3	1	4	たくさん食べたたくさん遊ぶので
3	1	4	毎年ワクチンうちに行ってるし毎日のブラッシングのときに体を触ったりしてチェックもしているの。
3	1	4	ご飯もよくたべ、元気に遊び回っているから。
3	1	4	ご飯も規則正しくしっかり食べて体型も標準体重で、排泄物も良いものが出ているし体を伸ばして安心して寝ているから
3	2	1	たまに風邪を引きやすいが普通の生活ができる
3	2	1	病院によく行く
3	2	1	歳だから
3	2	2	迷い込んで来た時に内臓を垂らして、下半身に怪我無かったので、何らかの疾患がある気がする。生活は元気だけど
3	2	2	とくに悪くもないし良くもないから
3	2	2	健康に過ごしているが心臓部が肥大といわれた
3	3	1	血液検査で異常が見つかったから
3	3	2	舌にデキモノがある 咳がとまらない
3	3	2	持病があるから
	3	4	母親が亡くなったので仕方なく面倒を見ている。自身はお金ないので治療する事は出来ません。ご飯をあげる事で精一杯な状態です。

CELL	Q4	Q7	Q5FA
4	1	1	半年に一度検診へ連れて行っているが不健康であると診断されたことはない
4	1	1	元気だし、年1回の健康診断で特に指摘がないから
4	1	1	診断してる
4	1	1	加齢による運動量の低下はあるがそれ以外は何もないから
4	1	1	日常生活に不便がない
4	1	1	高齢にかかわらず元気
4	1	1	弱い部分はあるが、それ以外で病院通いをしたことはない
4	1	1	元気
4	1	1	日々の生活が安定しているから
4	1	1	健康診断の結果がAだった
4	1	1	よく食べよく眠って、同居猫とバトルもすれば一緒にこたつに入って寝てたりと問題なく過ごしているから
4	1	1	定期健診で異常がない
4	1	1	特に問題なく健やかに過ごしているの
4	1	1	体調不良でないから。病院でも特に何も言われないから。
4	1	1	ある程度 元気が出てきたから
4	1	1	体調が悪い様子はなく、動きも変わらず。食事量も変わっていない。
4	1	1	病院に定期的に連れて行って、血液検査の値が良いから。
4	1	1	病気ひとつせず毎日活発に動いて食欲旺盛
4	1	1	常に元気で健康診断を行っても病気ではないからです
4	1	1	新しく買った、おもちゃにも興味深々に食いついてくるから
4	1	1	体調が悪くなったことがない
4	1	1	病気になっていない
4	1	1	特に病院に行ったりしなくて平気なので
4	1	1	たくさん食べてたくさん寝る
4	1	1	定期的な健康診断で特に異常は見られず、普段の行動等も特に衰えを感じないため
4	1	1	ご飯を適量食べ、排泄も
4	1	2	毎日、排便排尿、食事、睡眠に変化なし



自由回答集

Q5(7/8)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない

Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q4	Q7	Q5FA
4	1	2	食事に気を遣っている
4	1	2	元気に遊びまわっている
4	1	2	病院にかからないから
4	1	2	良く食べるし、遊んだり、走ったりして、排せつも普通なので
4	1	2	食欲は問題なく元気
4	1	2	元気
4	1	2	元気に動き回っているの。
4	1	2	ご飯をよく食べるから
4	1	2	いつも変わらないから
4	1	2	よく食べて毎日同じ時間にウンチをする。
4	1	2	体調が悪くはないですし食欲があり運動や遊びもしていますし体つきも健康だと思っ ているからです 健康上の問題が見つかっていないからです
4	1	2	よく食べてよく遊ぶ
4	1	2	特に気になる点もない気がするから
4	1	2	足腰は弱ってきているが食欲があって呼びかけにも良く反応するから
4	1	2	異常が見られないから
4	1	2	食欲もあり走りまわっているから
4	1	2	元気に走り回っている
4	1	2	うんち、おしっこ等から
4	1	2	10歳の割にはよく走り回ってて疲れ知らず
4	1	2	ご飯たくさん食べるしジャンプしてくるから
4	1	2	食欲が旺盛 外に出さない 家の中で走り回っている
4	1	2	いつも通りだから。
4	1	2	特に不調は見られないため
4	1	2	毛並みがいいし、食欲があるから
4	1	2	元気
4	1	2	いつも外に逃げだすほど元気だからです。
4	1	2	昨年以前と比べても目立った体調不良はないから
4	1	2	14歳でも5歳の猫と元気に追いかけてしている。餌の食べ方も良好。

CELL	Q4	Q7	Q5FA
4	1	4	元気だから
4	1	4	餌をよく食べるし、水もよく飲むから
4	1	4	特に大きな病気をしていない
4	1	4	食事もしっかりとれているし、元気にsるように見える。
4	1	4	特に食欲もあるから
4	1	4	元気
4	1	4	何事も無いので
4	1	4	体系スリムで食欲あり、排便も毎日あり。
4	1	4	食欲、排尿、排便、体重、などに問題があるとは思えないから
4	1	4	食欲あり、ウンチの状態も良いので。
4	1	4	食欲がある。
4	1	4	特に症状なしなので
4	1	4	毎日 様子が変わらない トイレの様子を見てもお腹を下してる様子もないし食欲 もある
4	1	4	ご飯も食べるし、オシッコも出てるし少しうんちが便秘気味くらいで、日々気をつけ ています
4	1	4	ご飯をよく食べ運動もしているから
4	1	4	ご飯食べて動けるしオムツしてない
4	1	4	今はご飯もよく食べるしトイレもちゃんとできているから
4	1	4	今の所病院にかかる病気もなく、元気にしていると思う
4	1	4	ご飯も良く食べ、排泄も毎日きちんとあるから
4	2	1	尿路対策餌を
4	2	1	シニアのため
4	2	1	吐くことが多い
4	2	1	少し腎臓の数値が悪く、治療食を食べている。
4	2	1	外猫のため、怪我や病気になることが多いから
4	2	2	最近、膀胱炎になった
4	2	2	尿路系の病を患っているが、特別元気でもなく元気が無いわけでもなく
4	2	2	定期的な健康診断をしていない



自由回答集

Q5(8/8)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q4 あなたはご自分のペットが「健康だ」と思っていますか。1.健康だと思っている 2.どちらともいえない 3.健康とは思っていない

Q5 そうお答えになった理由をお答えください。

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q4	Q7	Q5FA
4	2	2	数年前に甲状腺の病気が見つかり、今は安定しているが一生薬を飲まないといけないので健康とは言えない。高齢になり、他にも前足の関節変形や、数年前に膀胱炎になり生死をさまよっている。
4	2	2	年寄りだから
4	2	2	年だから
4	2	2	尿路が弱い
4	2	2	最近よく吐いたりもするから
4	2	2	最近、ウンチが緩い時がある
4	2	4	以前ストルバイトを経験しているので。
4	2	4	ここ一年は病院に行っていない。
4	2	4	肥満、高齢、口臭
4	2	4	病気で投薬治療してるから
4	2	4	高齢だから悪いところはあると思う
4	2	4	高齢なので
4	2	4	排尿に少し気になるところがある
4	3	1	20歳を超えた高齢で、慢性膵炎、高血圧、甲状腺機能障害、慢性腎臓病を患っている
4	3	1	糖尿病を患ったから。
4	3	2	数か月前、一日に何度も嘔吐したため病院に。レントゲン検査の結果、腹部が半年前より2倍くらいになっていた。(太りすぎのため)嘔吐については特に何も言われなかったし、その後も異常は見られないが、その時に脂肪が付きすぎているので、減量するように言われ、それからは通常食でなく、満腹感のある療法食を食べさせるように言われ、現在も食べさせている。見た目は健康だが、太りすぎのようなので、余り健康とは思っていない。
4	3	2	やせてきた
4	3	2	腎臓の病気
4	3	2	現在上の猫はで1.7才食が細くなり、排尿がスムーズにいかなく困っている。医者に連れて行ったが老衰とのことで完全な治療法がないとのことで困っている。
4	3	4	良く吐くから、食事は粒を数えて与えています。消化器サポートの為に3種類のドライフードを毎食違う数ブレンドして、パウチタイプも入れて少しお湯でふやかして与えて、なんとか1.6歳を迎える事が出来たから。



自由回答集

Q19(1/5)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。 1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

Q17 「健康診断を受けてよかった」と思った経験がありましたら、詳しくお聞かせください。

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q7	Q17FA
1	1	異常があればわかるので
1	1	気になっていた特徴は何ら病的なものではないことがわかった
1	1	愛犬に異常がないことがわかるので安心
1	1	安心
1	1	安心感
1	1	異常がないかわかって安心できた
1	1	細かいところまで検査してもらっているので安心感がある、
1	1	健康を感じたい
1	1	何かあっても早めに分かるから
1	1	今までよりも、これから年齢を重ねていくにつれて、もっともっと健康面に配慮していかなければ、ならないなと思うようになりました。ご飯のほうも工夫をして、美味しく食べられることは、もちろんのことですが、栄養バランスを意識した、食事することを、大切にしています。
1	1	病気の早期発見が出来たらいいので
1	1	やはり元気なのが嬉しいから
1	1	自分にとても合っているから
1	1	不安が解消。犬にはストレスでかわいそう。
1	1	異常が見つからなかった。
1	1	異常がないと言ってもらえると安心して過ごせる
1	1	トリミングの時にやってくれる
1	1	毎日に不安がなくなったから
1	1	子宮水腫が見つかって手術で対応できたので良かった。
1	1	安心して過ごせるから
1	1	定期的に健康管理できる
1	1	フィラリア検査で初期で寛解出来た経験がある
1	1	口頭で聞けるという事は、対面であり気になった事もすぐ聞けるから。
1	1	わかりやすかった
1	1	今はまだ健康に問題がないという安心に繋がったこと
	1	安心した
	1	安心して生活できるから

CELL	Q7	Q5FA
1	1	病気が見つかったから。
1	1	悪い兆候があれば早期にみつけれれる
1	1	精神的におちつく
1	1	安心
1	1	健康管理
1	1	早期発見が出来る
1	1	餌の選び方の目安になるから
1	1	安心できるのでありがたいです。
1	1	健康状態が知れたから
1	1	不安なことがなくなる点で受けてよかったと思う
1	1	何かあってからでは遅いのと、医師から直接説明をしてもらえて目づ相談もできるため
1	1	2歳の健康診断の際に、消化器に異常が見つかりましたか、早期だったため手術なしで今は元気になっています。検診を受けていて良かったと思いました。
1	1	なにも異常がなかったこと。
1	1	安心できる
1	1	安心した
1	1	今後起こり得る何かしらの異常を早期発見することができる。
1	1	病気が見つかった
1	1	何より健康なのかチェックしたいから
1	1	しつけなども相談に乗って頂けるから。
1	1	安心を得られること
1	1	なんともなかったとき
1	1	特にないが、飼い主として安心につながる。
1	1	これからの過ごし方、生活の気を付け方などがわかる。報告の形が理解できるようになった
1	1	直接的な効果はありませんが、いざ何かあったときに獣医が適切な手当が出来ると思う。獣医とのコミュニケーションに役立っていると思います。



自由回答集

Q17(2/5)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

Q17 「健康診断を受けてよかった」と思った経験がありましたら、詳しくお聞かせください。

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q7	Q17FA
1	2	今のところ特に不安に感じて飼育することがないので
1	2	毛つやが正常であるか、脚の状態が良いかが気になったので検査していただき、異常がなかったことで安心しました。
1	2	健康だとお墨付きを 貰った
1	2	何も異常がなかったので良かった
1	2	安心感がある
1	2	安心
1	2	健康で異常がないという安心感を得た
1	2	ひとまず安心出来る
1	2	心に安心感がある
1	2	毎回健康診断の時期になると体調が悪くなり健康診断よりもっときちんとした検査をここ何年か続けて受けてます。特に病気は見つかってませんが、何かあれば早期発見になり治るかもしれないので今後も受けさせたいです
1	2	安心できる
1	2	病気や体調が悪いのを早期に発見できること
1	2	獣医師から健康の太鼓判を押されたこと。
1	2	安心出来た
1	2	安心できる
1	2	健康なんだとお墨付きをもらい安心できる
1	2	その時点で健康なのがわかった
1	2	病気が早く発見される。
1	2	数値に異常がないことがわかったので受けて良かった
2	1	病気の早期発見
2	1	後ろ足の関節が腐る病気を見つけて頂き、手術、以降のリハビリ等の結果、日常さんの支障もなく過ごせている。
2	1	今の健康状態がわかる
2	1	いつも丁寧に結果報告をしてもらっている
2	1	家庭での食事や運動の気遣いが出来る
2	1	いつも自分で触診しているので確認のため
1	1	特に異常がなかったので安心しました。
1	1	早く糖尿が見つかって適切な指導を受けることができた

CELL	Q7	Q5FA
2	1	特別なことはないが、検査結果に異常がないことが分かれば安心です。
2	1	安心できる。
2	1	安心して生活ができる
2	1	安心感がある。
2	1	腎臓の数値が一時的に悪くなったがその後よくなった
2	1	早期に見つければ早期に治療できるし、なければ安心するから
2	1	結果が分かったおかげで、餌にも気を使うようになった。
2	1	長生きしている。
2	1	食べているフードや散歩の時間、屋内外の住環境など、今の生活がフィットしているかどうか分かりづらいときもあるので、健康診断のフィードバックによりそういう部分で改善しないといけない点が明らかになれば病気や怪我を未然に防ぐことができるし、安心につながるから。
2	1	安心できる
2	1	胆嚢の異常が早い段階で見つかったので、投薬のみっすんだ
2	1	安心して生活が送れる
2	1	早期に分かる
2	1	安心して日々ペットと過ごせる
2	1	前の犬も、受けていたので、早期発見ができた
2	1	問題無いと安心出来る
2	1	異常がなくて良かった
2	1	取り敢えず、安心を得られる
2	1	胆嚢が肥大化して、摘出した。
2	1	病気が発見した。病気の対応も出来た。
2	1	健康状況を把握できること
2	1	症状はあるが病名は付かないので飼い主の日々のケアが大事だと痛感
2	1	検査をしてみないとよくわからないから
2	1	元氣そうにみえていたが、健康診断で心疾患があるとしたため（治療が必要ない段階で知れた）
2	1	毛並みがよくなり 活発になった
2	1	異常がない時
2	1	安心出来る



自由回答集

Q17(3/5)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。 1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

Q17 「健康診断を受けてよかった」と思った経験がありましたら、詳しくお聞かせください。

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q7	Q17FA
2	1	心臓の病気が見つかった
2	1	病気など早期発見
2	1	異常が見つからなかったとき
2	1	獣医師による詳しい説明を聞くことができたから
2	1	体重が少しオーパ-気味なので足、腰の負担を発見
2	1	病気が早く見つかった
2	1	正しい対処の仕方を教えてもらえる。
2	1	高齢になってきているので状態がよくわかって良い
2	2	安心できる
2	2	安心できる
2	2	安心出来るので
2	2	検査結果が数値化されて 分かり易い
2	2	分かりやすく説明してくれた
2	2	異常がなくてほっとした
2	2	先代保護犬が強フィリアで腹水、てんかん等で3年3日で亡くなりました。死後の半年は医療費が莫大でした。そのためにも健康診断を受ける
2	2	アレルギーが見つかった
2	2	栄養や運動など気をつけなければいけないことが分かった
2	2	病気が見つかったから
2	2	異常がある場合の対策を指示してもらえたので。
2	2	安心できた
2	2	何も病気が見つからなかったこと
2	2	実際に病気が見つかったから
2	2	心臓の疾患について説明が聞けた
2	2	健康診断で病気がわかって、薬をもらって不安が少しなくなった。
2	2	病名が分かるので、自分で、ネットで調べて対処方が、分かること。
3	1	健康だと安心した
3	1	安心を得られる
3	1	安心できる

CELL	Q7	Q5FA
3	1	診断を受けて何事もなく不安が解消した
3	1	尿に石が見つかった
3	1	健康診断の結果が良いと安心できる
3	1	安心できる
3	1	安心して暮らせる
3	1	安心して飼育できる
3	1	生後5ヶ月から飼い始めましたが、当初血便が続き何度も検査や投薬してもなかなか良くならなかった。しかし、獣医を変えてから、根本原因を探ることから始めようと医師と模索して、ペットフードに原因があるのではと突き止め、フードを変えたら血便をほとんどしなくなった。健康診断で異常がなく他の原因であることがわかったので、やはり健康診断は必要だと思いました。
3	1	安心感を得られる
3	1	健診を受けたタイミングで風邪などのちょっとした体調不良も見つけて早めに対処できたこと。
3	1	安心できるところ
3	1	安心感が持てた
3	1	食事指導などが受けられたりすることです
3	1	安心できる。
3	1	今健康だから
3	1	安心
3	1	健康だと分かり安心できる。
3	1	精神的に安心できる
3	1	症状が軽いうちに予防が出来る。症状が出やすいタイプが分かり生活習慣で気をつけられる。
3	1	病的な異変があった場合、早めの対応が取れるため、比較的軽症で発見され素早く治療に入ることが出来るメリットがある
3	1	猫ちゃんが健康だと確信でき安心感が広がった。
3	1	普段気になることも先生に確認できること
3	1	健康状態を知ることができるから
3	1	異常がないのがわかった

自由回答集

Q17(4/5)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。 1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

Q17 「健康診断を受けてよかった」と思った経験がありましたら、詳しくお聞かせください。

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q7	Q17FA
3	1	過去のペットが病気の時に医師に薦められた療養食の缶詰めで健康を保つことができたから。
3	1	飼い主が気づかないところまでしっかりみてもらえたこと
3	1	安心した
3	1	今後予想される体調の事や種類別のなりやすい病気など、その場で質問でき、詳しく聞けるのは有難い。
3	1	健康以外にもペットの健康管理をする上での相談等ができるのが良かった。
3	1	異常が無くて安心出来る
3	1	安心するから
3	1	細かいところまでアドバイスくれる
3	1	安心材料になる 細かいことまでしっかり診てもらえる為、健康状態が目に見えて分かる
3	1	安心できる
3	1	早期発見できて大事に至らず治療できる
3	1	安心感
3	1	猫が先生を好きだから
3	1	大きな病気の予防を行うことができる、フードの選択
3	2	今後の傾向が予想できる
3	2	獣医さんに観てもらって、健康と聞いて安心したから。
3	2	気を付けなければいけない点が明らかになった
3	2	捨て猫だったので年がわかったこと、寄生虫などの駆除、猫エイズの罹患がなかったことの確認が取れた。
3	2	心配が緩和した
3	2	猫は話せないのでプロに見てもらって安心したい
3	2	血液検査などで状態を知れたので良かった
3	2	生まれてから最初の健康診断だったので、回虫の有無や全体的な体調に問題がなかったことが分かって、安心した。
3	2	病気が見つかった
3	2	病気もなく安心してペット暮らせるから
2	2	安心して遊ばせてあげれる。
2	2	安心できる

CELL	Q7	Q5FA
3	2	特にありませんが、安心感がある。
3	2	前に飼っていた犬の健康診断で腸の病気が見つかり早め治療を受けられたことがある
3	2	健康であると安心することができた
3	2	今は飼い始めたばかりですが安心した
3	2	気になっていた症状に説明がついたこと。医師からの詳しい説明と対応を聞いたこと、今後の対応を聞いたこと。
3	2	健康状態がわかる
3	2	異常がないというだけで安心できた
3	2	避妊手術のついでにうけてよかった
3	2	念のために一応受けてみただけで医者からお墨付きが貰えたので一安心です。
3	2	自分で大丈夫だと思っていたことが、大丈夫ではなく薬が必要だったとき
3	2	とりあえず普通に生活している
3	2	わからなかった事がわかった
3	2	癌だと思っていたが違う病気だった
3	3	異常が無いという安心感を得られたから
3	3	普段から気になっていたことをまとめて聞くことができたので
4	1	早期に何かが見つかったことはないが、それを聞くだけで安心する
4	1	問題ないことが分かった
4	1	健康だったから
4	1	飼い主の安心につながる
4	1	長生き出来る
4	1	猫にありがちな腎臓系は大丈夫だという安心感が得られる
4	1	安心
4	1	目立った事はありませんが、それが一番大事な事と感じています。
4	1	元気に過ごしているが高齢なこともあり、健康診断の結果が良いと安心できる。もちろん、結果次第で早めに対処できるので健康診断は受けている
4	1	今現在の猫の状態を確認ができること
4	1	日頃の疑問や気を付けたほうがよいことなどを教えてもらえる
4	1	元気がないように見えたとき。特に問題がないと知れて安心したから



自由回答集

Q19(5/5)

CELL 1.犬7歳未満 2.犬7歳以上 3.猫7歳未満 4.猫7歳以上

Q7 あなたはそのペットに、定期的に健康診断を受けさせていますか。 1.定期的に受けさせている 2.定期的には受けさせていないが、受けさせたことはある 3.今年初めて受けさせた 4.受けさせたことはない

Q17 「健康診断を受けてよかった」と思った経験がありましたら、詳しくお聞かせください。

※「特にない」「ない」などは非記載



CELL	Q7	Q17FA
4	1	健康の助けになったから
4	1	体調が悪そうな時に、一時的な物との診断ご相談がでると安心する。
4	1	水を飲みすぎる時があって、腎機能が悪くなってきたのかなと心配だったが、健康診断して問題なかったこと。
4	1	安心する
4	1	適切な食事がわかったからです
4	1	ペットにも個体差があるので詳しく検査を受けたかったから
4	1	病気にならずに済んでいる
4	1	安心できる
4	1	健康が確認され安心した
4	1	尿路対策のその後は元気
4	1	変化を把握しやすい
4	1	余計な心配をしなくてよい
4	1	早期に発見が出来る。
4	1	病気や怪我が早く見つかった
4	1	早目の病気が見つかり、治療につなげられた
4	1	血液検査で異常な数値が出て、追加でレントゲンを撮った。
4	2	感染や病気にかかっていない
4	2	状態がわかる
4	2	病気の予防
4	2	安心
4	2	特に異常がないとのことで安心した
4	2	安心できる
4	2	数値を知ることができたこと
4	2	安心したこと
4	2	保護猫でまだ目の空いていない状態で家に来たので、感染症もなくエイズも陰性白血病もなかった、
4	2	良い結果も悪い結果も知らないよりは知っていたほうが対処できますし安心できることが良いところだと思います
4	2	一安心

CELL	Q7	Q17FA
4	2	自分では分からないから詳しく検査してもらい安心出来た
4	2	健康状態が分かったのがよかった
4	2	健康なのが数値ではっきりしたこと
4	2	健康を維持できる
4	2	安心確認
4	2	とりあえずは病気が見付からなかったから
4	2	安心できるから
4	2	安心が得られる
4	2	見かけではわからない体調がわかったから
4	2	やっぱり実際に受けないと健康かどうかはわからないので結果が良かった時はすごくうれしかったです。
4	2	病気が無いと安心できた
4	2	愛猫の健康状態を確認できて、これからの付き合いに明るさが出るから。
4	2	安心感がある
4	2	尿路器の他は異常値が無く
4	2	体調に変化が見られ病気の心配があったが、病院で健康診断を受けて何も異常がなく健康体だと分かったのでほっとした。
4	2	安心できた
4	2	なにもなければ安堵するし、悪い状態にあった時は周りも観察しながら過ごせるようになる。
4	2	現在はもういない猫だが、想像以上に体の具合がよくなかったことがわかり、対処方がわかったこと。
4	2	病気が改善した
4	2	早期発見できました
4	2	獣医師から健康であるとの確認が取れたこと。

